最初にお読みください

基本操作

応用操作

その他

AVセレクター

型名 JX-D800

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4、5ページ「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

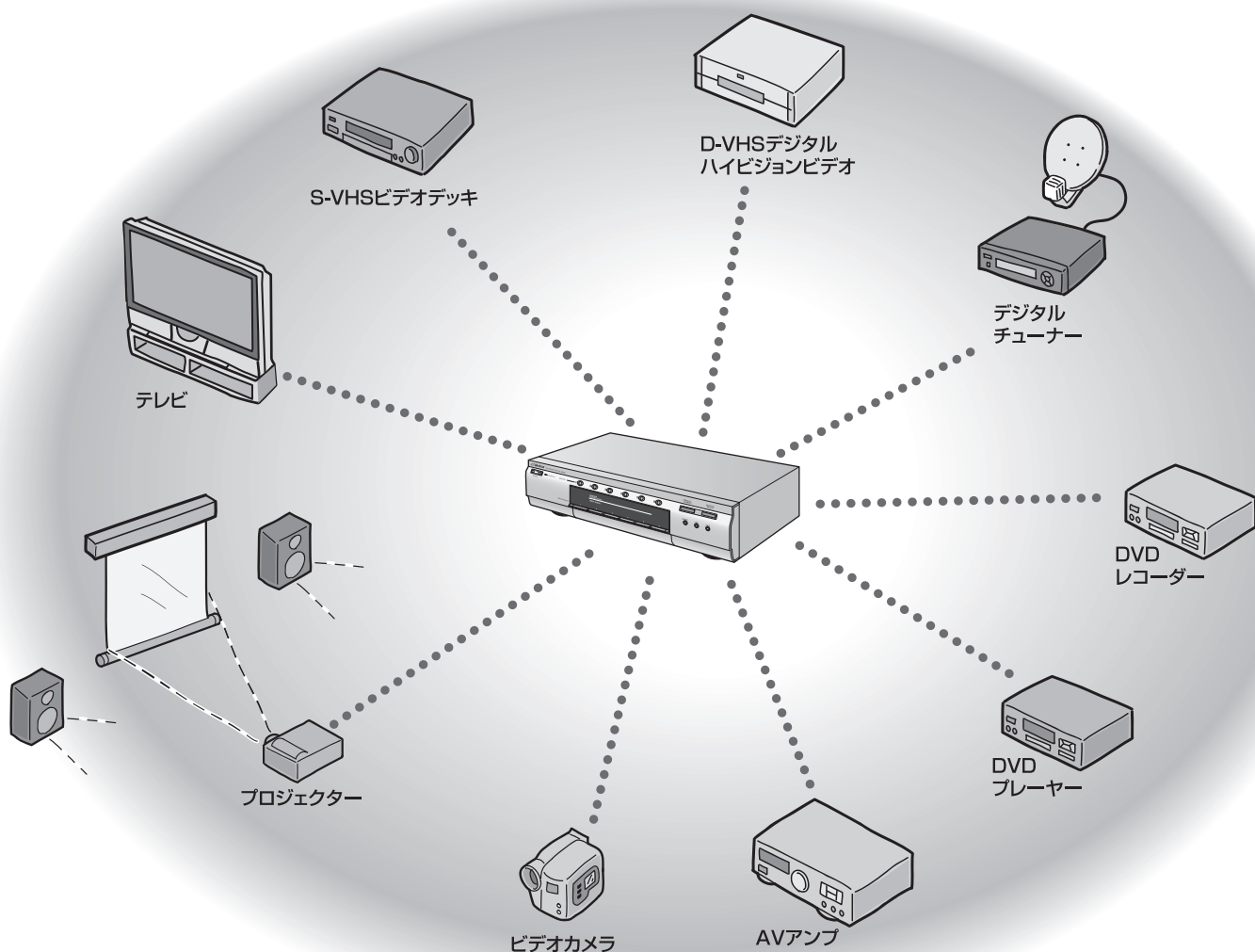
主な特長

① コンポジット映像信号→S映像信号→D1（525i）映像信号変換回路、D映像端子（D4対応）および
　コンポーネント映像端子（☞30、31ページ）の計6入力を搭載し、さまざまなAV機器を集中管理。

② ホームシアターに適した6入力4出力、モニター3出力（☞7、10、11、28、29ページ）。

③ 同時に2系統の機器でダビングが可能な、パラレルダビング機能搭載（☞22、33ページ）。

④ DVDやデジタル放送の高画質・高音質な信号に対応（コンポーネント信号の映像周波数帯域は
　30MHz対応、光デジタル音声入出力端子搭載）。

⑤ 入力機器から出力されるS映像信号の有/無と連動して、電源ON/OFFが可能なLINK（リンク）機能搭載
　（☞34ページ）。

もくじ

最初にお読みください

接続する／映像を見る

録画する／ダビングする

シアターシステムを構成する

知っていると便利

その他

最初にお読みください
基本操作
応用操作
その他

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵(マーク)が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は手を挟まれないよう注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中には具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグにはふれないでください。
感電の原因となります。

- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードがJX-D800の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります(コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります)。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災･感電の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災･感電の原因となります。

● 屋外や風呂場、シャワー室では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

⚠注意

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

● 指定以外の乾電池は使用しないでください。
また種類の異なる乾電池や新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
乾電池の破裂、液もれにより、火災･けがの原因となることがあります。

● 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
間違えると乾電池の破裂、液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
乾電池から液がもれて火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください 。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

本書の見かたと梱包品のご確認

●本書の見かた●

本書では、はじめて使うかたでも簡単に接続・操作方法が覚えられ、さまざまなAV機器がお使いになれるよう、ビデオデッキなどを使った基本操作手順から、ホームシアターの構成など応用的な操作手順を説明しています。

また、内容を読みやすくするために次のようなマーク、記号を使用しています。

操作や手順に関する注意事項が書かれています。

操作や機能などの付加的な情報が書かれています。

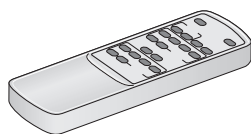
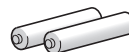
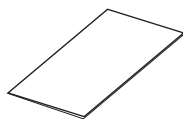
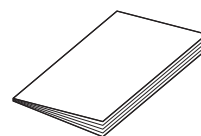
接続に関する注意事項が書かれています。

接続に関する付加的な情報が書かれています。

●梱包品のご確認●

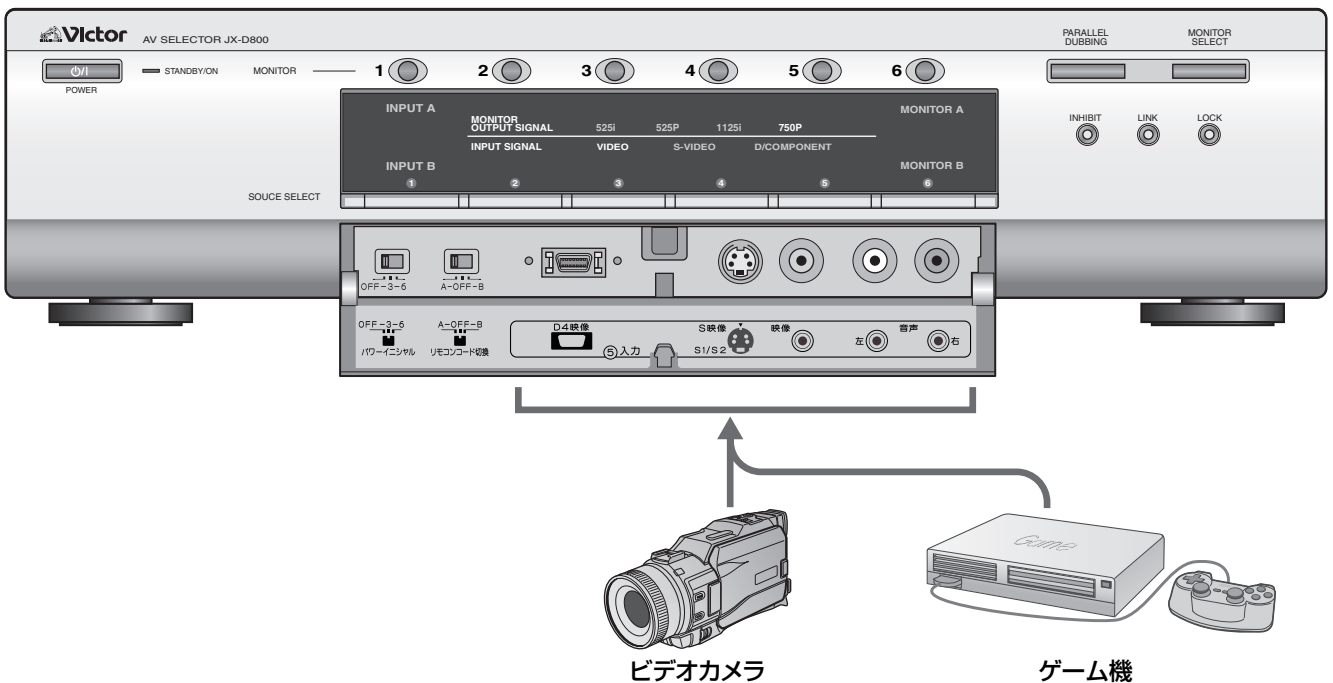
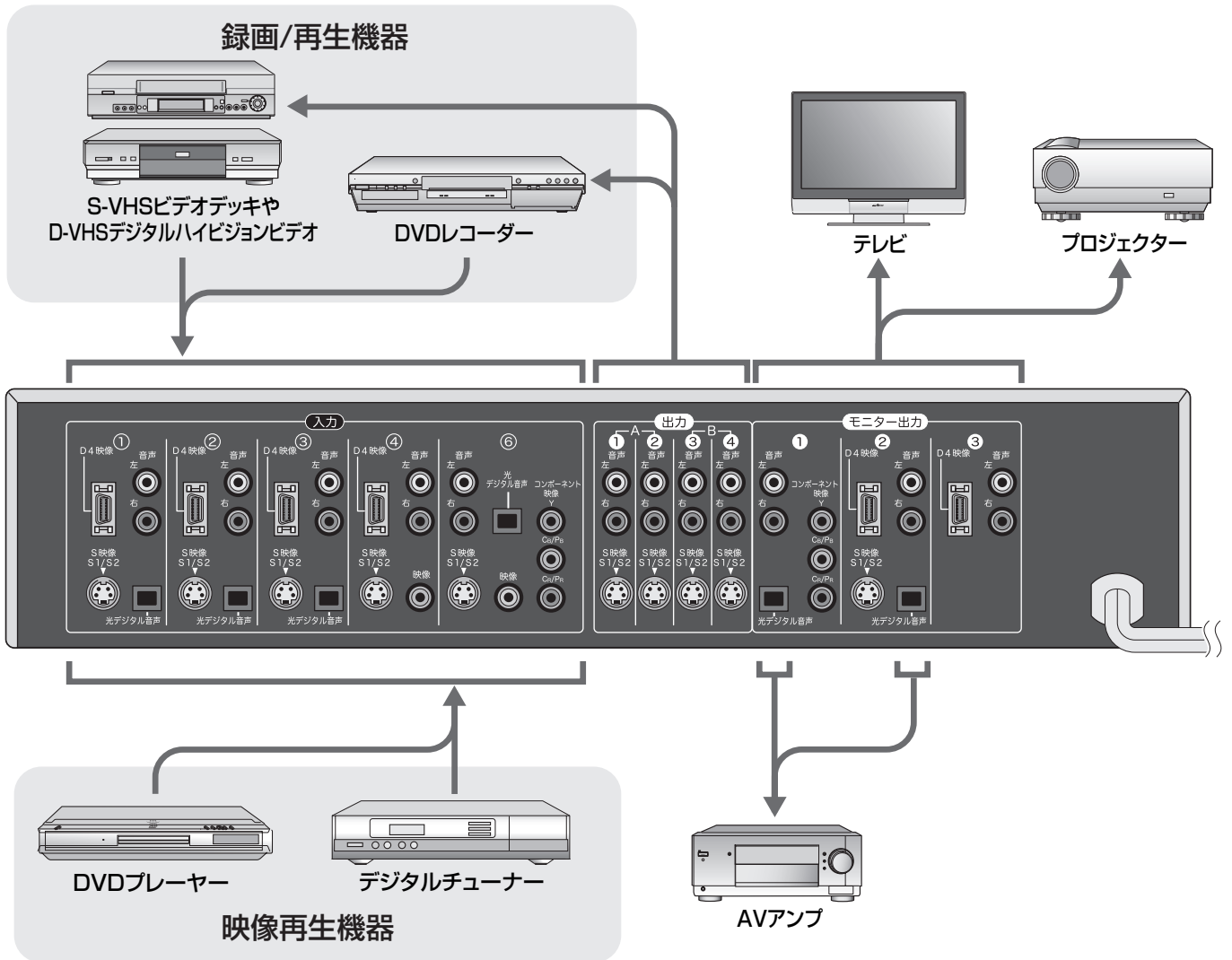
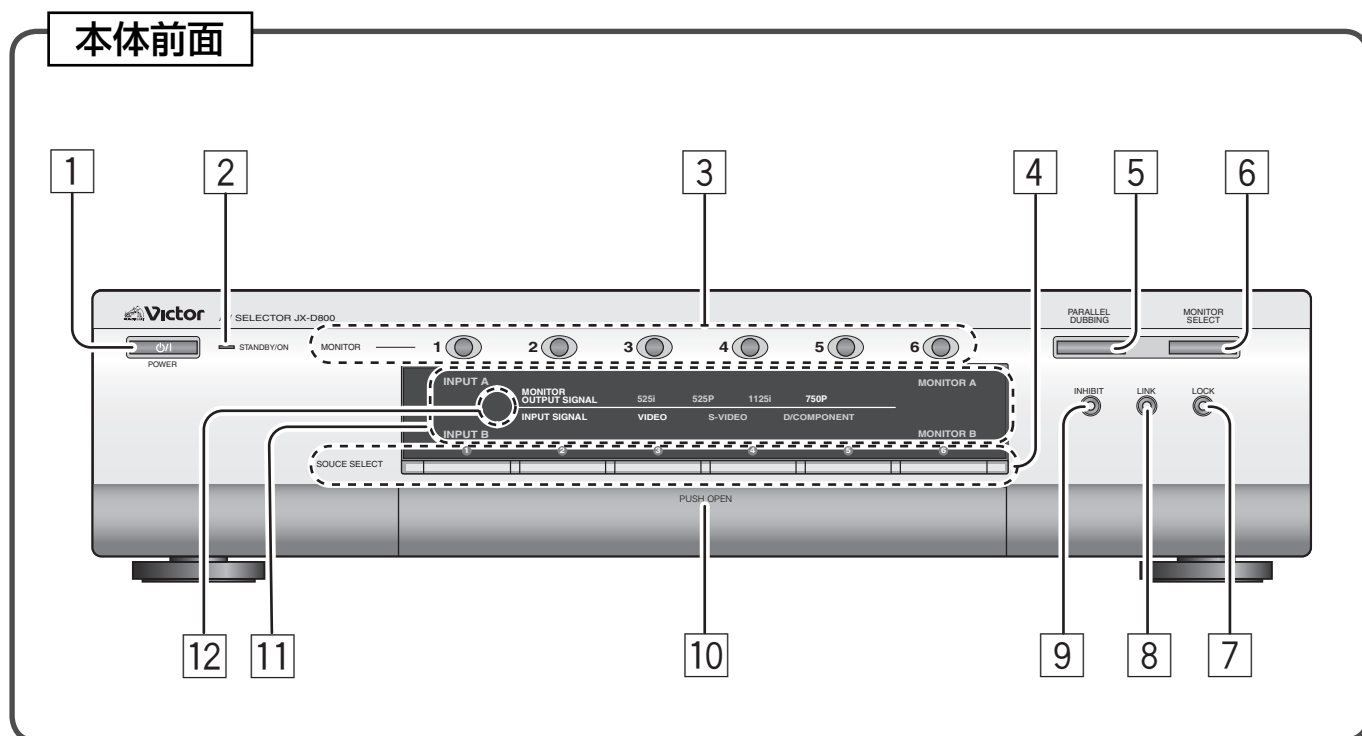
AVセレクターJX-D800の箱には、以下のものが同梱されています。

本体（JX-D800）

リモコン（RM-AD800）

単3乾電池2本
（動作確認用）

保証書

取扱説明書（本書）

システム構成例

AVセレクターで広がるAVワールド
録画/再生機器
S-VHSビデオデッキや
D-VHSデジタルハイビジョンビデオ
DVDレコーダー
テレビ
プロジェクター
入力
出力
モニター出力
DVDプレーヤー
デジタルチューナー
映像再生機器
AVアンプ
Victor
AV SELECTOR JX-D800
POWER
STANDBY/ON
MONITOR
PARALLEL DUBBING
MONITOR SELECT
INHIBIT
LINK
LOCK
INPUT A
INPUT B
MONITOR A
MONITOR B
MONITOR OUTPUT SIGNAL
INPUT SIGNAL
525i
525P
1125i
750P
VIDEO
S-VIDEO
D/COMPONENT
SOUCE SELECT
パワーイニシャル
リモコンコード切換
⑤入力
ビデオカメラ
ゲーム機

各部の名称

本体前面

1 ⏻/I POWER(電源) ボタン

JX-D800の電源をON／OFF(スタンバイ)します。

2 STANDBY/ON ランプ

JX-D800の電源が「ON」のとき、緑色に点灯します。
JX-D800の電源が「OFF(スタンバイ)」のとき、赤色に点灯します。

- **スタンバイ状態から再度、電源を「ON」にすると、電源を「OFF(スタンバイ)」にする前と同じ設定で使うことができます。**

3 MONITOR ボタン、ランプ
(☞**15**、**17**、**19**、**21**、**23**、**25**、**29**ページ)

モニター出力端子に出力する入力機器を選びます。
選択した入力のボタンが橙色に点灯します。
また、パラレルダビング時にA系統(INPUT A)の出力端子から出力する入力機器を選びます。

4 SOURCE SELECT ボタン、ランプ
(☞**19**、**21**、**23**、**25**、**29**ページ)

出力端子に出力する入力機器を選びます。
選択した入力のランプが橙色に点灯します。
また、パラレルダビング時にB系統(INPUT B)の出力端子から出力する入力機器を選びます。

5 PARALLEL DUBBING ボタン、ランプ(☞**23**ページ)

パラレルダビング(同時に2系統の機器でダビング)をするときに押します。
「ON」のとき、ランプが赤色に点灯します。

6 MONITOR SELECT ボタン(☞**23**、**33**ページ)

パラレルダビング(同時に2系統の機器でダビング)時に、A/Bどちらの系統をモニター出力端子に出力するかを選びます。

7 LOCK ボタン、ランプ(☞**34**ページ)

出力端子へ出力する系統を固定し、ダビング中の誤操作を防ぎたいときに押します。
「ON」のとき、ランプが赤色に点灯します。

- **この状態でモニター出力を選ぶと、出力端子でダビング中の映像はそのままに、モニター出力端子からの映像だけが切換わります。**

8 LINK ボタン、ランプ(☞**34**ページ)

入力機器からのS映像信号を受けて、その映像信号の有/無にJX-D800の電源のON/OFF(スタンバイ)を連動させることができます。
「ON」のとき、ランプが赤色に点灯します。

- **入力機器にS映像出力がないとご利用になれません。**

9 INHIBIT ボタン、ランプ(☞**32**ページ)

SOURCE SELECTボタンで選ばれた入力の映像/音声信号を同じ番号の出力端子に出力させないときに押します。
「ON」のとき、ランプが緑色に点灯します。

10 PUSH OPEN(☞**10**ページ)

押すと本体前面ドアが開きます。

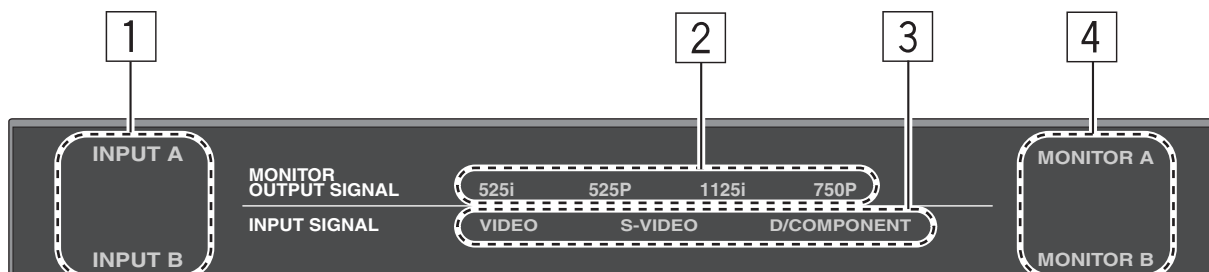
11 本体表示窓(☞**9**ページ)

JX-D800の操作状態を表示します。

12 リモコン受光部

付属リモコンの信号を受信します。

本体表示窓

1 INPUT(インプット) A ランプ、INPUT(インプット) B ランプ（☞**23**ページ）

PARALLEL DUBBINGが「ON」のとき、赤色に点灯します。

2 MONITOR(モニター) OUTPUT(アウトプット) SIGNAL(シグナル) ランプ

モニター出力端子のD映像端子から出力されている**映像信号フォーマット**を表示します。
出力されている**映像信号フォーマット**のランプが橙色に点灯します。

- 525i： D1映像信号が出力されています。
- 525P： D2映像信号が出力されています。
- 1125i： D3映像信号が出力されています。
- 750P： D4映像信号が出力されています。

- **コンポジット映像信号またはS映像信号が、D1映像信号に変換されてモニター出力端子から出力されているときは、「525i」になります。**

ご注意

MONITOR(モニター) OUTPUT(アウトプット) SIGNAL(シグナル) 点灯時のご注意

- 入力端子⑥のコンポーネント映像端子から入力された信号は表示されません。
- PARALLEL DUBBING 時は消灯します。

3 INPUT(インプット) SIGNAL(シグナル) ランプ

MONITORボタンで選択されている入力の映像信号の入力端子情報を表示します。
接続されている映像信号のランプが橙色に点灯します。

- VIDEO： コンポジット映像端子が接続されています。
- S-VIDEO： S映像端子が接続されています。
- D/COMPONENT：D映像またはコンポーネント映像端子が接続されています。

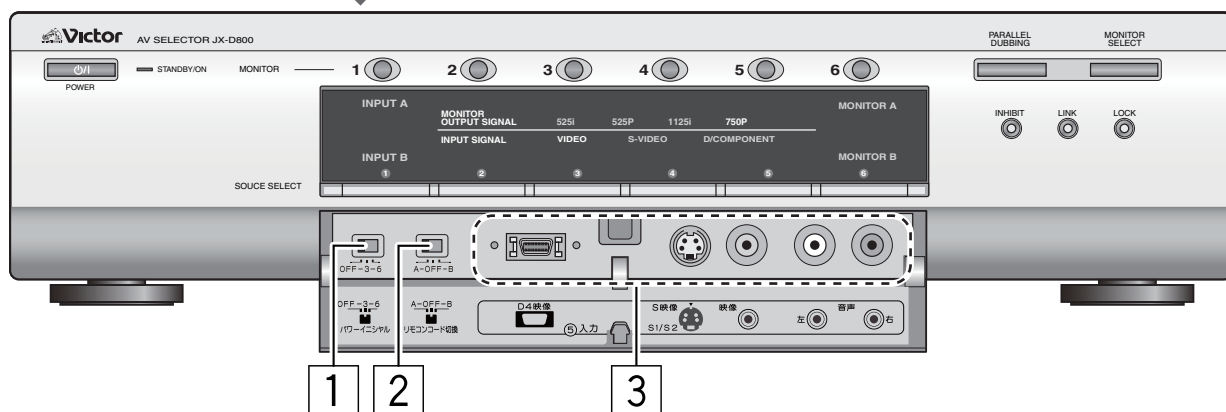
- **PARALLEL DUBBING 時は消灯します。**

4 MONITOR(モニター) A ランプ、MONITOR(モニター) B ランプ（☞**23**ページ）

PARALLEL DUBBING時にモニター出力されている系統のランプが点灯します。
MONITOR Aランプは緑色に、MONITOR Bランプは赤色に点灯します。

各部の名称（つづき）

本体前面ドア内部

1 2 3

1 **パワーイニシャルスイッチ**（☞**27**ページ）
JX-D800をビデオデッキなどのAC連動コンセントに接続して、タイマー動作させるときに使います。
また、集中管理システムなどで、システムの主電源のON/OFF、入力切換を連動させるときに使います。

2 **リモコンコード切換スイッチ**（☞**35**ページ）
2台のJX-D800を1つのリモコンで操作するときに使います。

3 **入力端子（⑤）**

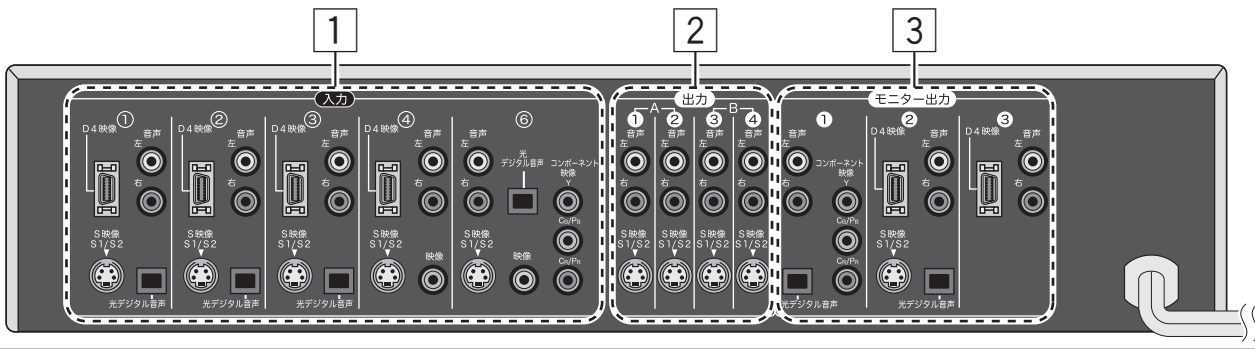
ビデオカメラやゲーム機などを接続します。
D4映像、S映像〔S1/S2対応〕、映像〔コンポジット〕、音声入力端子

- 選んでいる機器の映像信号が映像〔コンポジット〕入力端子からのみ入力されているときでも、出力のS映像端子やモニター出力のS映像端子、D4映像端子、コンポーネント映像端子から映像信号が出力されます（コンポジット映像信号→S映像信号→D1映像信号変換）。
- 選んでいる機器の映像信号がS映像入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のD4映像端子から映像信号が出力されます（S映像信号→D1映像信号変換）。

ご注意

D端子、コンポーネント端子使用時のご注意

- D4映像端子に入力された映像信号は、モニター出力端子のD4映像およびコンポーネント映像出力端子にのみ出力されます。S映像端子からは出力されません（S映像信号には変換されません）。
- ビデオデッキやビデオカメラによるビデオテープの映像をコンポジット映像信号またはS映像信号としてJX-D800に入力し、D映像出力端子またはコンポーネント映像出力端子を用いてテレビに接続した場合、テレビによっては「画面が歪む」「画面が乱れる」などの症状が発生することがあります。これはテレビの仕様であり、改善することはできません。JX-D800は信号フォーマットの変換を行いますが、画質を安定および向上させる機能はありませんので、あらかじめご了承ください。
このような場合は、JX-D800とテレビ間はD映像コードではなく、S映像コードでの接続をお奨めします。

本体背面

1 **入力端子（①、②、③、④、⑥）**

ビデオデッキ、DVDレコーダー、デジタルチューナーなどの映像再生機器を接続します。
D4映像（①、②、③、④のみ）、コンポーネント映像（⑥のみ）、S映像〔S1/S2対応〕、映像〔コンポジット〕（④、⑥のみ）、光デジタル音声（①、②、③、⑥のみ）、音声入力端子

- **選んでいる機器の映像信号が映像〔コンポジット〕入力端子からのみ入力されているときでも、出力のS映像端子やモニター出力のS映像端子、D4映像端子、コンポーネント映像端子から映像信号が出力されます（コンポジット映像信号→S映像信号→D1映像信号変換）。**
- **選んでいる機器の映像信号がS映像入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のD4映像端子から映像信号が出力されます（S映像信号→D1映像信号変換）。**

ご注意

D端子、コンポーネント端子使用時のご注意

D4映像端子に入力された映像信号は、モニター出力端子のD4映像およびコンポーネント映像出力端子にのみ出力されます。S映像端子からは出力されません（S映像信号には変換されません）。

2 **出力端子（❶、❷、❸、❹）**

ビデオデッキ、DVDレコーダーなどの録画機器を、最大4系統まで接続することができます。
S映像〔S1/S2対応〕、音声出力端子
AV機器のS映像、音声入力端子と接続します。

3 **モニター出力端子（❶、❷、❸）**

テレビやモニターと接続します。
D4映像（❷、❸のみ）、コンポーネント映像（❶のみ）、S映像（❷のみ、S1/S2対応）、光デジタル音声（❶、❷のみ）、音声出力端子

- **選んでいる機器の映像信号が映像〔コンポジット〕入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のS映像とD4映像端子から映像信号が出力されます（コンポジット映像信号→S映像信号→D1映像信号変換）。**
- **選んでいる機器の映像信号がS映像入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のD4映像端子から映像信号が出力されます（S映像信号→D1映像信号変換）。**

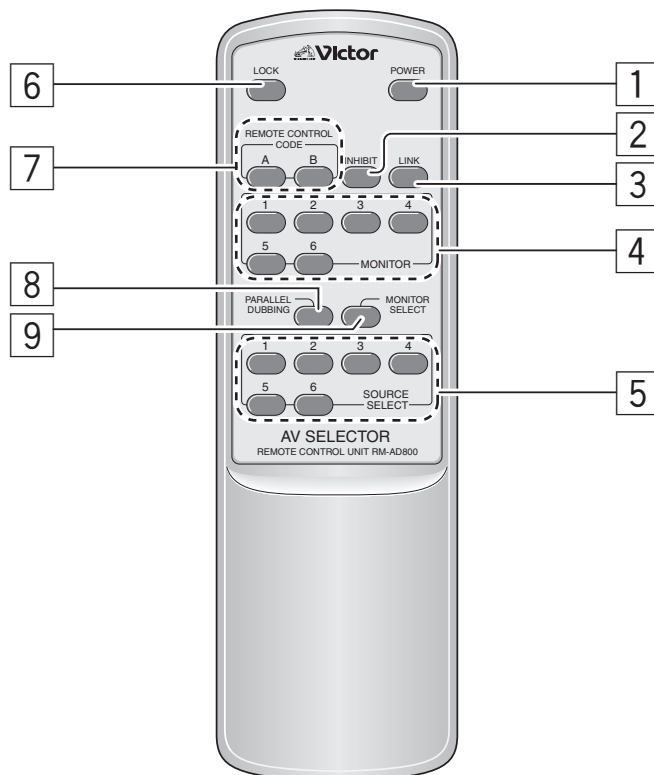
出力端子（出力、モニター出力）を使用するときは

出力端子から出力される映像信号の種類は、下表のようになります。

○：出力されます
×：出力されません

出力端子から出力される信号 ＼ 入力される映像信号	コンポジット映像信号のみ	S映像信号のみ	D映像信号のみ	コンポーネント映像信号のみ	S映像信号とコンポジット映像信号	D映像信号とコンポジット映像信号	コンポーネント映像信号とコンポジット映像信号	D映像信号とS映像信号	コンポーネント映像信号とS映像信号	D映像信号、S映像信号、コンポジット映像信号	コンポーネント映像信号、S映像信号、コンポジット映像信号
S映像信号	○*1	○	×	×	○	○*1	○*1	○	○	○	○
D映像信号	○*2	○*3	○	○	○*3	○	○	○	○	○	○
コンポーネント映像信号	○*2	○*3	○	○	○*3	○	○	○	○	○	○

*1 コンポジット信号から変換されたS映像信号が出力されます（コンポジット映像信号→S映像信号変換）。
*2 コンポジット信号から変換されたD1映像信号が出力されます（コンポジット映像信号→S映像信号→D1映像信号変換）。
*3 S映像信号から変換されたD1映像信号が出力されます（S映像信号→D1映像信号変換）。

リモコン

1 POWER(電源) ボタン

JX-D800の電源をON／OFF(スタンバイ)します。

2 INHIBIT ボタン(☞**32**ページ)

SOURCE SELECTボタンで選ばれた入力の映像/音声信号を同じ番号の出力端子に出力させないときに押します。

3 LINK ボタン(☞**34**ページ)

入力機器からの出力S信号を受けて、その映像信号の有/無にJX-D800の電源のON/OFF(スタンバイ)を連動させることができます。

4 MONITOR ボタン(☞**15**、**17**、**19**、**21**、**23**、**25**、**29**ページ)

モニター出力端子に出力する入力機器を選びます。
また、パラレルダビング時にA系統(INPUT A)の出力端子から出力する入力機器を選びます。

5 SOURCE SELECT ボタン(☞**19**、**21**、**23**、**25**、**29**ページ)

出力端子に出力する入力機器を選びます。
また、パラレルダビング時にB系統(INPUT B)の出力端子から出力する入力機器を選びます。

6 LOCK ボタン(☞**34**ページ)

出力端子へ出力する系統を固定し、ダビング中の誤操作を防ぎたいときに押します。

- この状態でモニター出力を選ぶと、出力端子でダビング中の映像はそのままに、モニター出力端子からの映像だけが切換わります。

7 REMOTE CONTROL CODE ボタン(☞**35**ページ)

2台のJX-D800を1つのリモコンで操作するときに送信するリモコン信号(Aコード/Bコード)を切換えます。

8 PARALLEL DUBBING ボタン(☞**23**ページ)

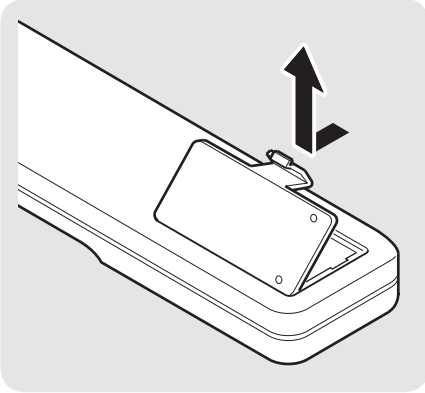
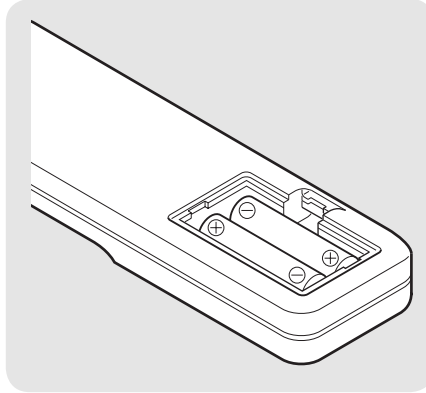
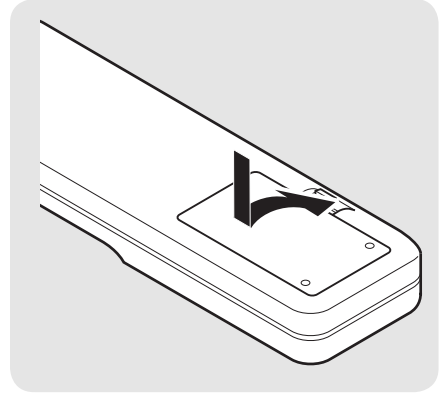
パラレルダビング(同時に2系統の機器でダビング)をするときに押します。

9 MONITOR SELECT ボタン(☞**23**ページ)

パラレルダビング(同時に2系統の機器でダビング)時に、A/Bどちらの系統をモニター出力端子に出力するかを選びます。

リモコンの使いかた

乾電池を入れる

つまみを押しながらフタを開ける

単3乾電池(2本)を入れる

フタを閉める

ご注意

乾電池を使用するときは

乾電池の誤った使いかたをしますと液漏れや破裂の危険があります。次の点にご注意ください。

1. 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きを表示通り正しく入れてください。
2. 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投げ入れたりしないでください。
3. 種類の異なる乾電池や、新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

●乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
　※付属の乾電池は、お客様の動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。

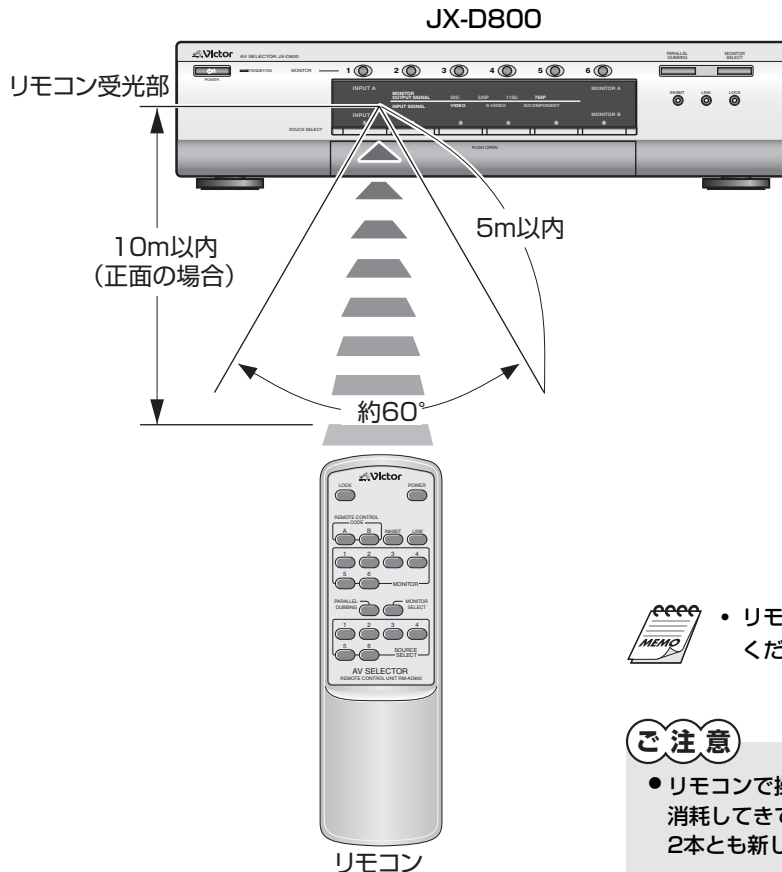
リモコンの操作範囲

JX-D800

リモコン受光部

5m以内

10m以内
(正面の場合)

約60°

リモコン

• リモコンコードの切換えについては、35ページをご覧ください。

ご注意

● リモコンで操作できる距離が短くなったときは、乾電池が消耗してきています 。
2本とも新しい乾電池(単3乾電池)に交換してください。

再生映像を見る

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなどの映像再生機器をJX-D800の入力端子①に接続し、再生映像を見てみましょう。

• 接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側　S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなど

:信号の流れ

S映像出力端子へ　D映像出力端子へ　(白)(赤) 音声出力端子へ　光デジタル音声出力端子へ

映像再生機器が録画にも使用できる場合

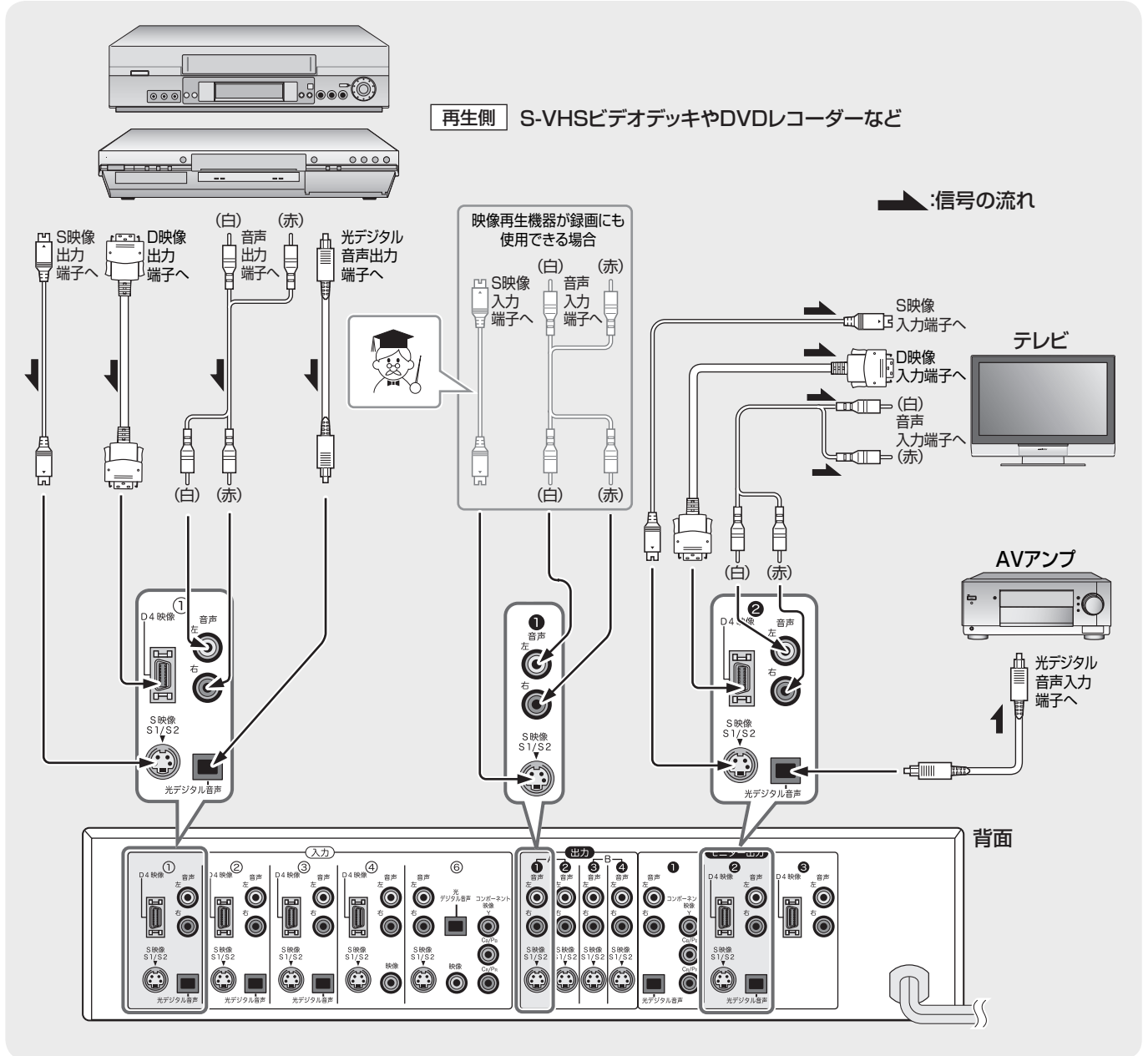
S映像入力端子へ　(白)(赤) 音声入力端子へ

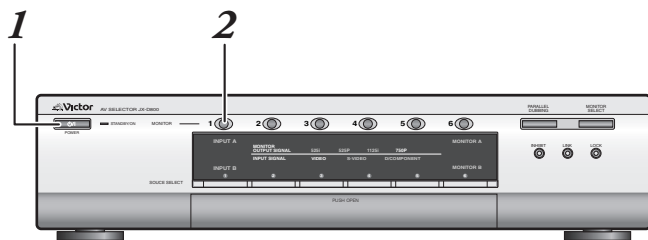
テレビ

S映像入力端子へ　D映像入力端子へ　(白) 音声入力端子へ (赤)

AVアンプ

光デジタル音声入力端子へ

背面

• 映像再生機器やテレビにD映像入力／出力端子があるときは、D映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます（**S映像端子とD4映像端子の両方をつなぐ必要はありません**）。
• S映像入力端子とD4映像入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD4映像およびコンポーネント映像端子から出力されます（☞11ページ「**出力端子（出力、モニター出力）を使用するときは**」）。

• S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなど、映像再生機器が録画にも使用できる場合は、録画機器として使用できるようにJX-D800の出力端子と接続してお使いください。
• 選んでいる映像再生機器の映像信号が映像〔コンポジット〕入力端子またはS映像入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のD4映像端子から映像信号が出力されます（**コンポジット映像信号→S映像信号→D1映像信号変換**）。

ご注意

D端子、コンポーネント端子使用時のご注意

ビデオデッキやビデオカメラによるビデオテープの映像をコンポジット映像信号またはS映像信号としてJX-D800に入力し、D映像出力端子またはコンポーネント映像出力端子を用いてテレビに接続した場合、テレビによっては「画面が歪む」「画面が乱れる」などの症状が発生することがあります。これはテレビの仕様であり、改善することはできません。JX-D800は信号フォーマットの変換を行いますが、画質を安定および向上させる機能はありませんので、あらかじめご了承ください。このような場合は、JX-D800とテレビ間はD映像コードではなく、S映像コードでの接続をお奨めします。

- 他の機器の再生映像を見るには、その機器が接続された番号のMONITORを選択してください。
- LINK機能を使って、接続した機器から出力されるS映像信号の有/無により、JX-D800の電源ON/OFFを連動させることができます(☞34ページ)。

1 「POWER」(本体の場合は ⏻/I POWER)を押し、JX-D800の電源を入れる

- 本体のSTANDBY/ONランプが緑色に点灯します。

2 MONITORの「1」を押し、見たい映像再生機器を選ぶ

- 本体のMONITOR 1のランプが橙色に点灯します。

- すでにMONITOR 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

3 テレビの電源を入れ、入力を切換える

- テレビの入力をモニター出力端子と接続した入力に切換えます。

4 映像再生機器の電源を入れ、ディスクやテープを再生する

映像再生機器

- 光デジタル音声信号を再生するには、AVアンプ側で操作してください。

ご注意

- INHIBITは「ON」にしてお使いください(☞32ページ)。

D映像/コンポーネント映像端子付き機器の映像を見る

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

DVDプレーヤーなどを入力端子⑥と接続し、コンポーネント映像端子付テレビをモニター出力端子に接続します。

• 接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側 DVDプレーヤーなど

:信号の流れ

コンポーネント出力端子へ (赤) (青) (緑)

S映像出力端子へ

光デジタル音声出力端子へ

(赤) (白) 音声出力端子へ

⑥ 音声 左 右 光デジタル音声 コンポーネント映像 Y CB/PB CR/PR S映像 S1/S2 映像

(白) (赤)

LINK機能(☞34ページ)を使うために必要な接続です

背面

入力 ① ② ③ ④ ⑥ 出力 A B ❶ ❷ ❸ ❹ モニター出力 ❶ ❷ ❸

(白) (赤)

S映像入力端子へ

音声入力端子へ

(白) (赤)

ビデオデッキ

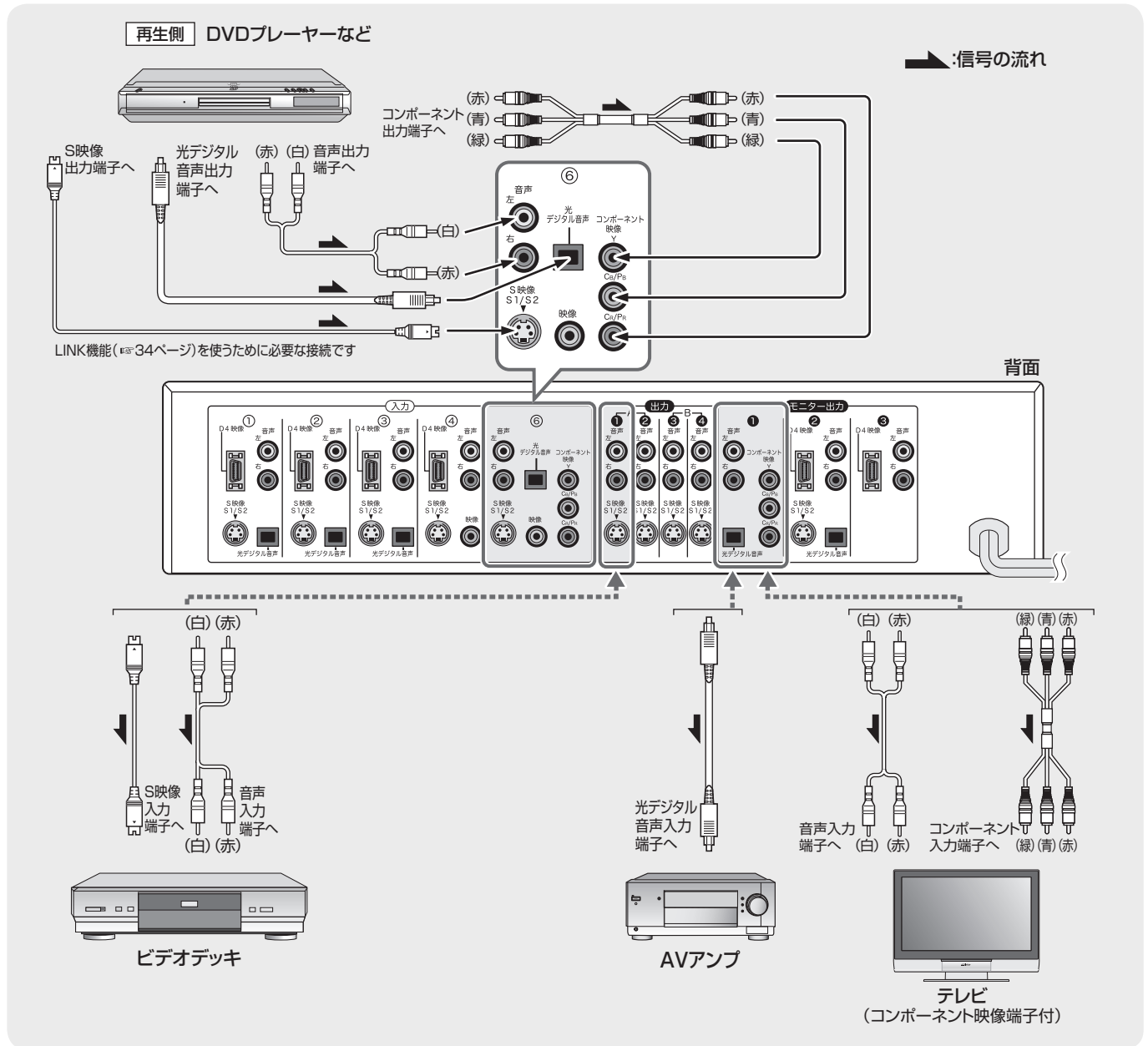
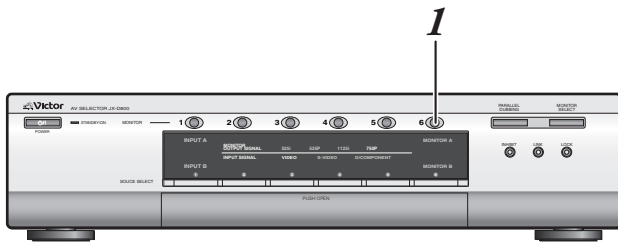
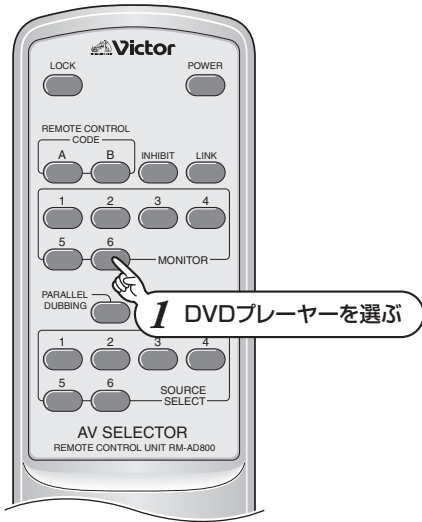
光デジタル音声入力端子へ

AVアンプ

(白) (赤) (緑) (青) (赤)

音声入力端子へ (白) (赤)

コンポーネント入力端子へ (緑) (青) (赤)

テレビ
(コンポーネント映像端子付)

• コンポーネントビデオコードで接続する場合でも、S映像コードと音声コードをあわせて接続してください。S映像コードを接続しないと、LINK(リンク)機能(☞34ページ)が使用できません。また、音声コードを接続しないと音声が出力されません。
• コンポーネント映像入力端子からの映像信号は、モニター出力端子のD4映像およびコンポーネント映像出力端子からのみ出力されます。出力やモニター出力のS映像端子からは出力されません(☞**11ページ「出力端子(出力、モニター出力)を使用するときは」**)。
• 選んでいる機器の映像信号が映像〔コンポジット〕入力端子からのみ入力されているときでも、出力のS映像端子やモニター出力のS映像、D4映像端子とコンポーネント映像端子から映像信号が出力されます(**コンポジット映像信号→S映像信号→D1映像信号変換**)。
• 選んでいる映像再生機器の映像信号がS映像入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のD4映像端子とコンポーネント映像端子から映像信号が出力されます(**S映像信号→D1映像信号変換**)。
• JX-D800のコンポーネント映像端子では、ハイビジョン(1125i)・プログレッシブ(750p、525p)・従来の信号(525i)が扱えます。

• JX-D800の電源を入れてください。

ご注意

D端子、コンポーネント端子使用時のご注意

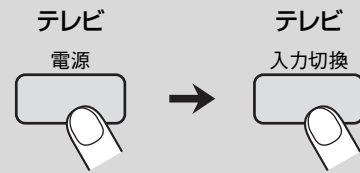
ビデオデッキやビデオカメラによるビデオテープの映像をコンポジット映像信号またはS映像信号としてJX-D800に入力し、D映像出力端子またはコンポーネント映像出力端子を用いてテレビに接続した場合、テレビによっては「画面が歪む」「画面が乱れる」などの症状が発生することがあります。これはテレビの仕様であり、改善することはできません。JX-D800は信号フォーマットの変換を行いますが、画質を安定および向上させる機能はありませんので、あらかじめご了承ください。このような場合は、JX-D800とテレビ間はD映像コードではなく、S映像コードでの接続をお奨めします。

1 MONITORの「6」を押し、DVDプレーヤーを選ぶ

• 本体のMONITOR 6のランプが橙色に点灯します。

• すでにMONITOR 6のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 テレビの電源を入れ、入力を切換える

• テレビの入力をコンポーネント映像入力に切換えます。

3 DVDプレーヤーの映像を再生する

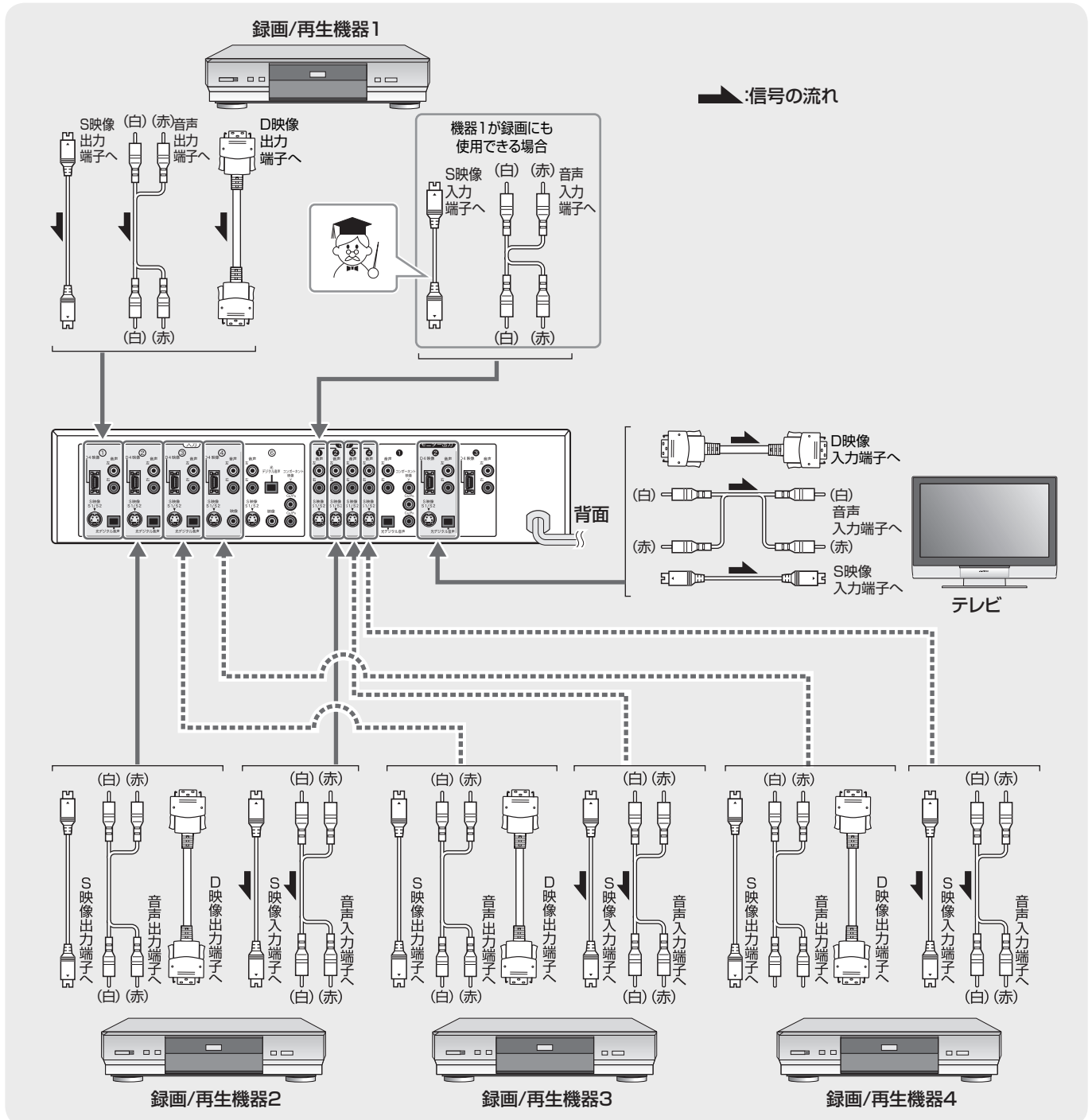
• テレビ画面にDVDプレーヤーの映像が出ます。

DVDプレーヤー

• 光デジタル音声信号を再生するには、AVアンプ側で操作してください。

ダビングする(マルチダビング)

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

入力端子①に接続した録画/再生機器から出力端子❷、❸、❹に接続した複数の録画/再生機器にダビングできるようにしてみましょう。

• 接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

録画/再生機器1

:信号の流れ

S映像出力端子へ　(白) (赤) 音声出力端子へ　D映像出力端子へ

(白) (赤)

機器1が録画にも使用できる場合

S映像入力端子へ　(白) (赤) 音声入力端子へ

(白) (赤)

背面

D映像入力端子へ

(白)　(白) 音声入力端子へ

(赤)　(赤)

S映像入力端子へ

テレビ

(白) (赤)　S映像出力端子へ　音声出力端子へ　D映像出力端子へ　(白) (赤)

(白) (赤)　S映像入力端子へ　音声入力端子へ　(白) (赤)

(白) (赤)　S映像出力端子へ　音声出力端子へ　D映像出力端子へ　(白) (赤)

(白) (赤)　S映像入力端子へ　音声入力端子へ　(白) (赤)

(白) (赤)　S映像出力端子へ　音声出力端子へ　D映像出力端子へ

(白) (赤)　S映像入力端子へ　音声入力端子へ　(白) (赤)

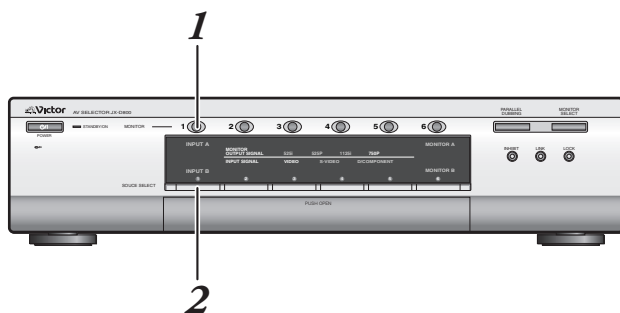
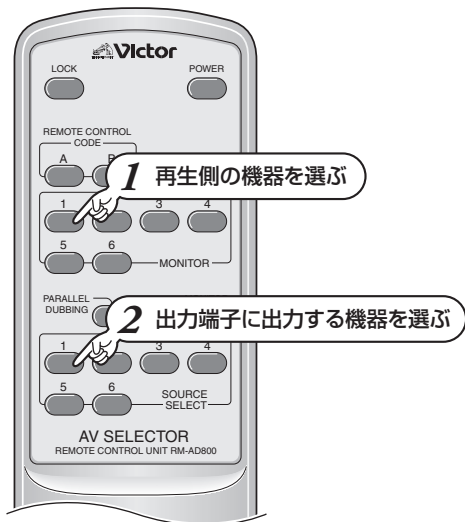
録画/再生機器2　録画/再生機器3　録画/再生機器4

• 録画機器やテレビにD映像入力/出力端子があるときは、D映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます(**ダビングする場合、再生側の機器は、必ずS映像端子を接続してください**)。

• S映像入力端子とD4映像入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD4映像およびコンポーネント映像端子から出力されます(☞11ページ「出力端子(出力、モニター出力)を使用するときは」)。

• S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなど、映像再生機器が録画にも使用できる場合は、録画機器として使用できるようにJX-D800の出力端子と接続してお使いください。

• マルチダビングは、INHIBITをONに設定しているときは3系統の出力、INHIBITをOFFに設定しているときは4系統の出力が可能です。モニター出力端子❷への出力も合わせて、最大で5系統の出力が可能です。

- JX-D800の電源を入れてください。
- テレビの電源を入れて、JX-D800のモニター出力端子と接続した入力を選びます。
- 録画/再生機器の電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

- 録画中はSOURCE SELECTを切換えないでください。
- ダビングした映像を確認するときは、映像の再生を始めてから、再生している映像機器が接続されているMONITORに切換えてください。

ご注意

- INHIBITは「ON」にしてお使いください(☞32ページ)。
- 他の再生機器からも同様にダビングできます。
  例: 入力端子3に接続した機器からダビングするには、MONITORボタンとSOURCE SELECTボタンで「3」を選びます。その後で、ダビング操作をします。
- ビデオやDVDのソフトによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。
- あなたがビデオテープなどに録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

1 MONITORの「1」を押し、再生側の機器1を選ぶ

- 本体のMONITOR 1のランプが橙色に点灯します。

- すでにJX-D800のMONITOR 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 SOURCE SELECTの「1」を押し、出力端子に出力する機器1を選ぶ

- 本体のSOURCE SELECT 1のランプが橙色に点灯します。

- すでにJX-D800のSOURCE SELECT 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

3 映像を再生する

機器1

4 機器2、3、4側で録画を開始する

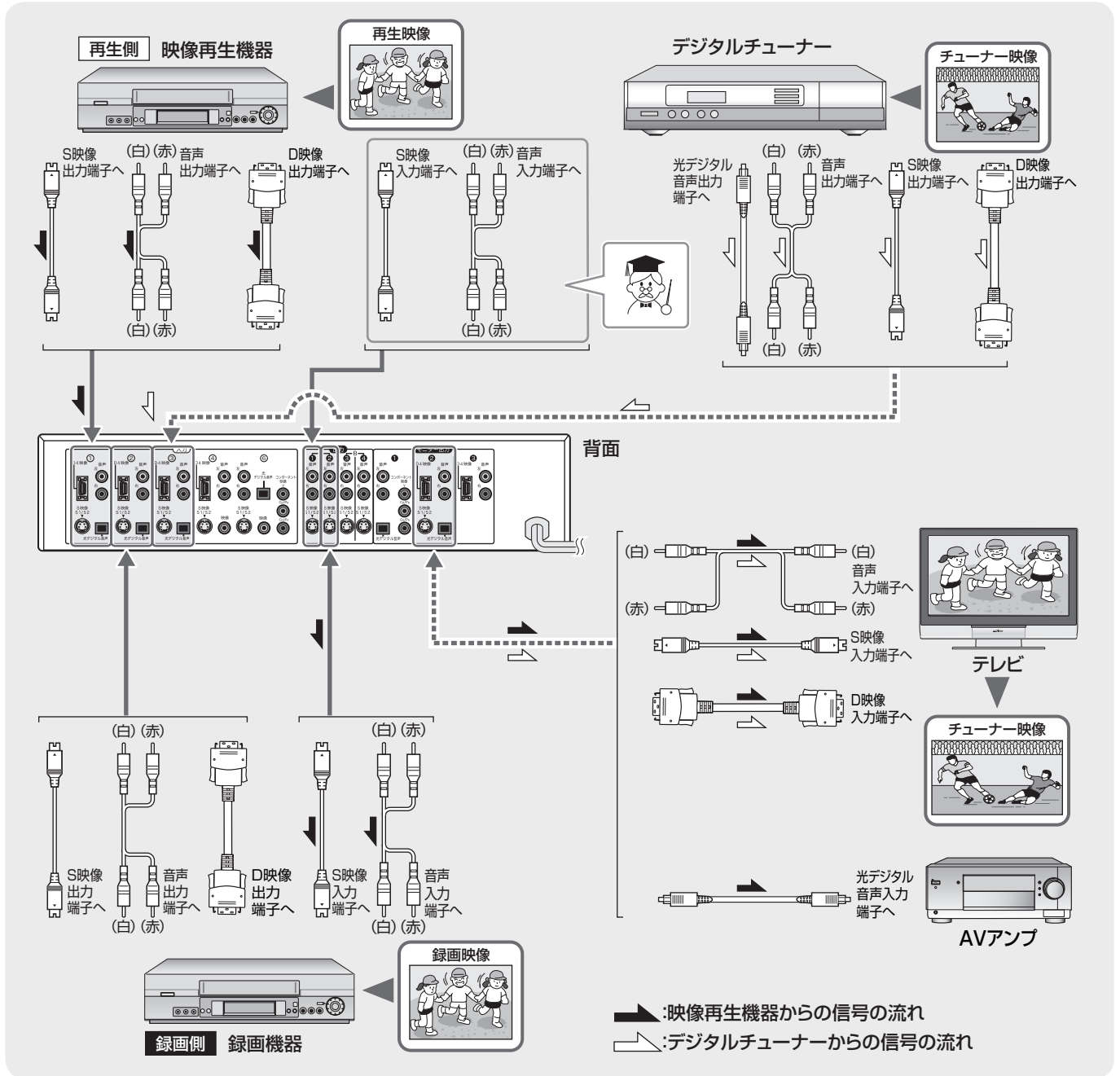
機器2、3、4

ご注意

- ダビングするときは、録画機器の入力切換スイッチなどを必ず外部入力モードにしてください。
- 録画するときは、録画用ビデオを「S入力」にしてください。

ダビングしながら他の映像を見る

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

映像再生機器を入力端子①に接続し、録画機器を出力端子❷に接続します。
つぎにデジタルチューナーを入力端子③に接続し、映像再生機器の映像を録画しながら、デジタルチューナーの映像をテレビで見てみましょう。

• 接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側　映像再生機器
再生映像
デジタルチューナー
チューナー映像
S映像出力端子へ　(白)(赤)音声出力端子へ　D映像出力端子へ
S映像入力端子へ　(白)(赤)音声入力端子へ
光デジタル音声出力端子へ　(白)(赤)音声出力端子へ　S映像出力端子へ　D映像出力端子へ
背面
(白)　(白)音声入力端子へ
(赤)　(赤)
S映像入力端子へ
D映像入力端子へ
テレビ
チューナー映像
S映像出力端子へ　(白)(赤)音声出力端子へ　D映像出力端子へ
S映像入力端子へ　(白)(赤)音声入力端子へ
光デジタル音声入力端子へ
AVアンプ
録画映像
録画側　録画機器
:映像再生機器からの信号の流れ
:デジタルチューナーからの信号の流れ

• 映像再生機器やテレビにD映像入力／出力端子があるときは、D映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます(**ダビングする場合、再生側の機器は、必ずS映像端子を接続してください**)。
• S映像入力端子とD4映像入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD4映像およびコンポーネント映像端子から出力されます(☞11ページ「**出力(出力、モニター出力)端子を使用するときは**」)。

• S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなど、映像再生機器を録画にも使用できる場合は、録画機器としても使用出来るように、JX-D800の出力端子❶と接続してお使いください。

- JX-D800の電源を入れてください。
- テレビの電源を入れて、JX-D800のモニター出力端子と接続した入力を選びます。
- 映像再生機器と録画機器の電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

1 SOURCE SELECTの「1」を押し、出力端子に出力する機器1を選ぶ

- 本体のSOURCE SELECT 1のランプが橙色に点灯します。

- すでにJX-D800のSOURCE SELECT 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 再生機器で映像を再生し、録画機器側で録画を開始する

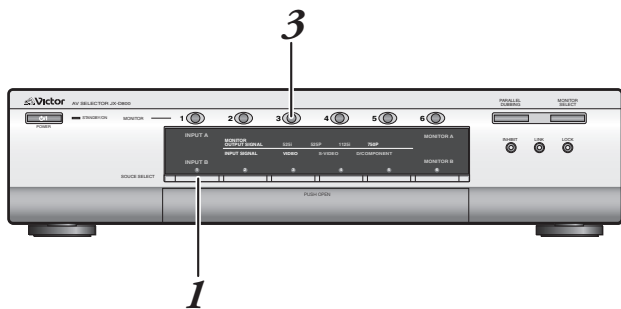
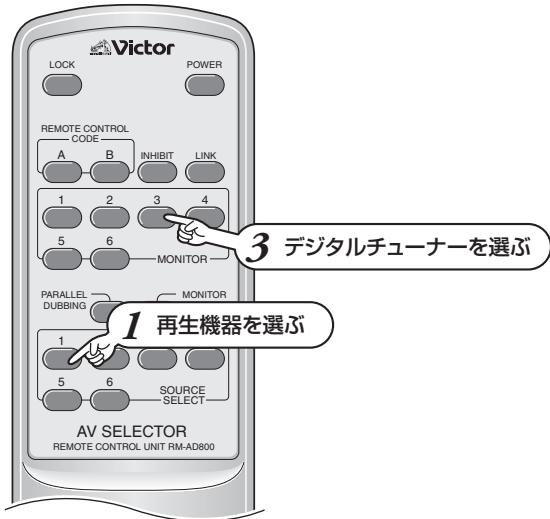
- MONITORの「1」を押すと、録画する映像をテレビで確認できます。

3 MONITORの「3」を押し、デジタルチューナーを選ぶ

- 本体のMONITOR 3のランプが橙色に点灯します。

- すでにJX-D800のMONITOR 3のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

4 デジタルチューナーで見たい番組を選ぶ

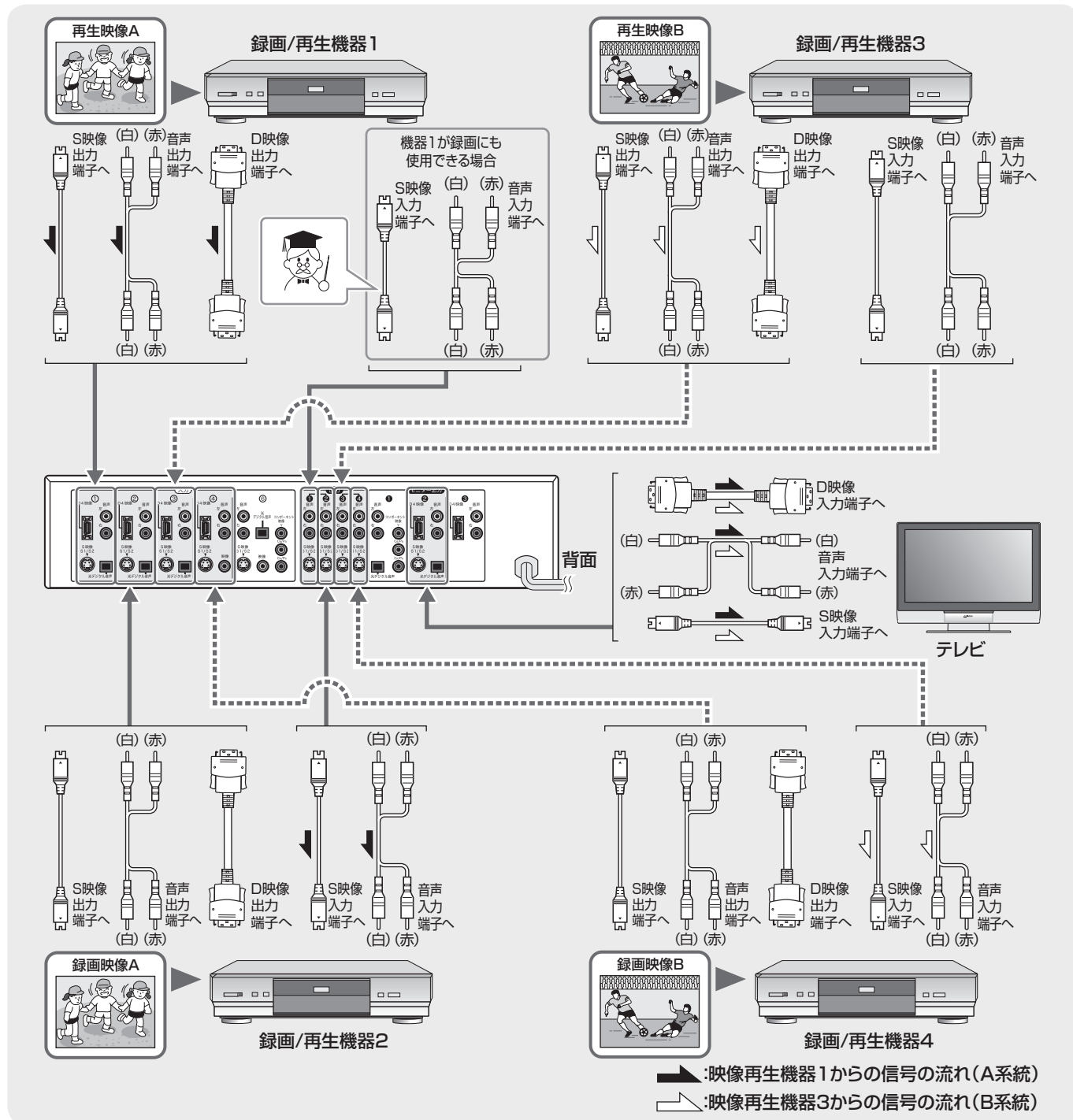
デジタルチューナー

- LOCKボタンを押すと、誤った操作を防止することができます(☞34ページ)。

ご注意

- INHIBITは「ON」にしてお使いください(☞32ページ)。
- あなたがビデオテープなどに録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

同時に2種類のソフトをダビングする(パラレルダビング)

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

録画/再生機器1から録画/再生機器2にダビングします(入力端子①→出力端子❷)。同時に、録画/再生機器3から録画/再生機器4に別のソフトをダビングしてみましょう(入力端子③→出力端子❹)。

• 接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

再生映像A
録画/再生機器1
S映像出力端子へ
(白) (赤) 音声出力端子へ
D映像出力端子へ
(白) (赤)
機器1が録画にも使用できる場合
S映像入力端子へ
(白) (赤) 音声入力端子へ
(白) (赤)

再生映像B
録画/再生機器3
S映像出力端子へ
(白) (赤) 音声出力端子へ
D映像出力端子へ
(白) (赤)
S映像入力端子へ
(白) (赤) 音声入力端子へ
(白) (赤)

背面
D映像入力端子へ
(白) (白) 音声入力端子へ
(赤) (赤)
S映像入力端子へ
テレビ

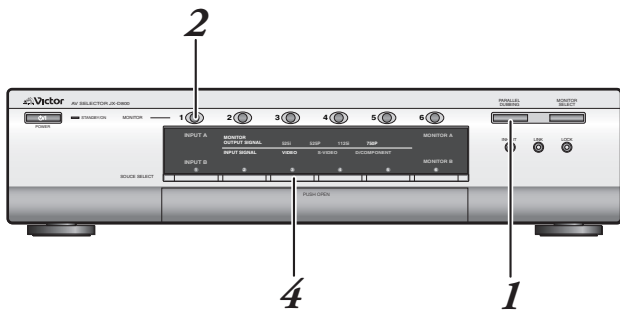
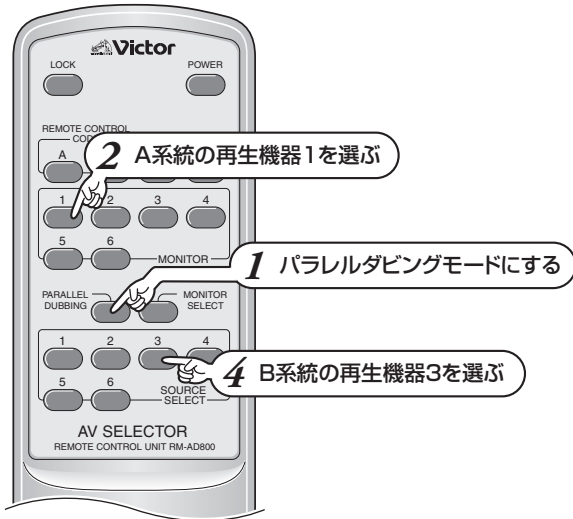
(白) (赤)
S映像出力端子へ
音声出力端子へ
D映像出力端子へ
(白) (赤)
(白) (赤)
S映像入力端子へ
音声入力端子へ
(白) (赤)
録画映像A
録画/再生機器2

(白) (赤)
S映像出力端子へ
音声出力端子へ
D映像出力端子へ
(白) (赤)
(白) (赤)
S映像入力端子へ
音声入力端子へ
(白) (赤)
録画映像B
録画/再生機器4

:映像再生機器1からの信号の流れ(A系統)
:映像再生機器3からの信号の流れ(B系統)

• 録画機器やテレビにD映像入力/出力端子があるときは、D映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます(**ダビングする場合、再生側の機器は、必ずS映像端子を接続してください**)。
• S映像入力端子とD4映像入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD4映像およびコンポーネント映像端子から出力されます(☞**11ページ「出力(出力、モニター出力)端子を使用するときは」**)。

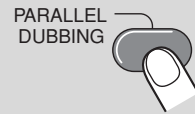
• S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなど、映像再生機器が録画にも使用できる場合は、録画機器として使用できるように、JX-D800の出力端子と接続してお使いください。

- JX-D800の電源を入れてください。
- テレビの電源を入れて、JX-D800のモニター出力端子と接続した入力を選びます。
- 映像再生機器と録画機器の電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

- ダビング中であっても、MONITOR SELECTボタンを押すたびに機器1(MONITOR A)と機器3(MONITOR B)の映像が切換わり、テレビで確認することができます。
- LOCKボタンを押すと、誤った操作を防止することができます(☞34ページ)。
- パラレルダビングを終了するときは、PARALLEL DUBBINGボタンを押します。
- PARALLEL DUBBINGの詳細については33ページをご覧ください。

ご注意

- INHIBITは「ON」にしてお使いください(☞32ページ)。
- あなたがビデオテープなどに録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

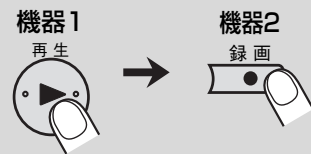
1 PARALLEL DUBBINGボタンを押し、パラレルダビングモードにする

- 本体のPARALLEL DUBBINGランプが赤色に点灯します。
- 本体表示窓のINPUT AランプとINPUT Bランプが赤色に、MONITOR Aランプ(緑色)またはMONITOR Bランプ(赤色)が点灯します。

- パラレルダビングモード中は次のようになります。
  - ・MONITOR1〜6ボタンで選んだ入力がA系統(出力端子1、2)から出力されます。
  - ・SOURUCE SELECT 1〜6ボタンで選んだ入力がB系統(出力端子3、4)から出力されます。

2 MONITORの「1」を押し、A系統の再生機器1を選ぶ

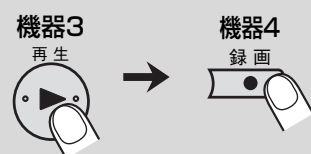
- 本体のMONITOR 1のランプが橙色に点灯します。

3 機器1を再生し、機器2で録画を開始する

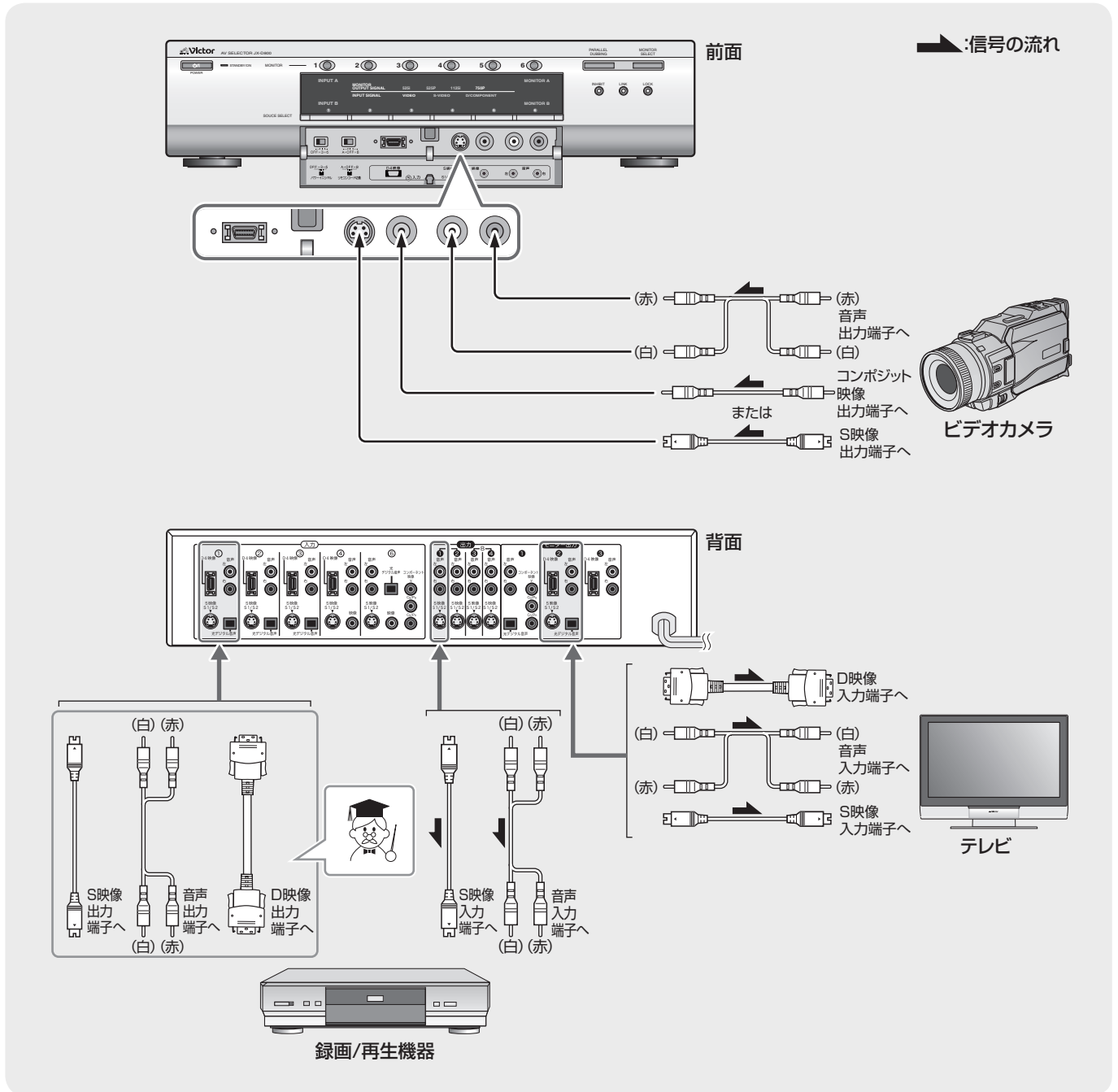
機器1 機器2

4 SOURCE SELECTの「3」を押し、B系統の再生機器3を選ぶ

- 本体のSOURCE SELECT 3のランプが橙色に点灯します。

5 機器3を再生し、機器4で録画を開始する

機器3 機器4

ビデオカメラからダビングする

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

入力端子⑤に接続したビデオカメラから出力端子❶に接続した録画/再生機器にダビングできるようにしてみましょう。

• 接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

前面

:信号の流れ

(赤) (赤) 音声 出力端子へ (白) (白)

コンポジット 映像 出力端子へ

または

S映像 出力端子へ

ビデオカメラ

背面

D映像 入力端子へ

(白) (白) 音声 入力端子へ (赤) (赤)

S映像 入力端子へ

テレビ

(白) (赤)

S映像 出力 端子へ　音声 出力 端子へ　D映像 出力 端子へ

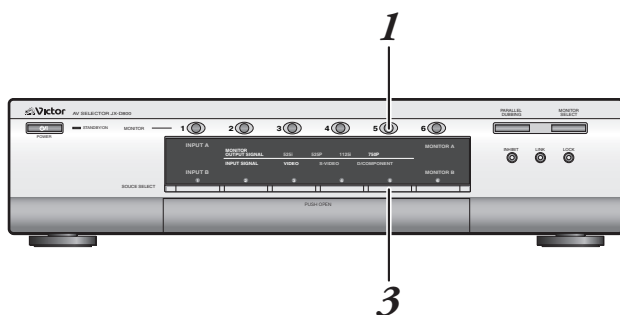
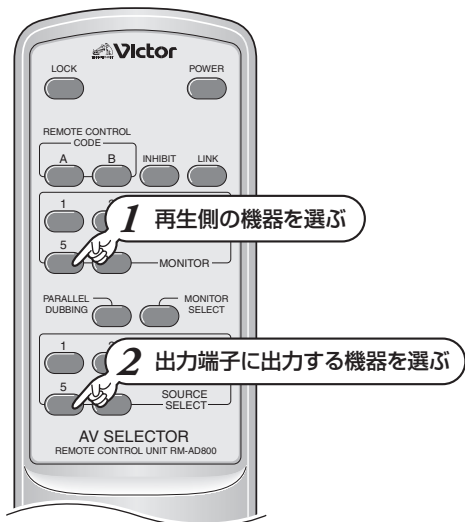
(白) (赤)

S映像 入力 端子へ　音声 入力 端子へ

録画/再生機器

• 録画機器やテレビにD映像入力／出力端子があるときは、D映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます（**ダビングする場合、再生側の機器は、必ずS映像端子を接続してください**）。
• S映像入力端子とD4映像入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD4映像およびコンポーネント映像端子から出力されます（☞**11ページ「出力（出力、モニター出力）端子を使用するときは」**）。

• S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなどを再生にも使用できるように、JX-D800の入力端子①と接続してお使いください。

- JX-D800の電源を入れてください。
- テレビの電源を入れて、JX-D800のモニター出力端子と接続した入力を選びます。
- ビデオカメラと録画/再生機器の電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

1 MONITORの「5」を押し、ビデオカメラを選ぶ

- 本体のMONITOR 5のランプが橙色に点灯します。

- すでにJX-D800のMONITOR 5のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 SOURCE SELECTの「5」を押し、出力端子に出力する機器5を選ぶ

- 本体のSOURCE SELECT 5のランプが橙色に点灯します。

- すでにJX-D800のSOURCE SELECT 5のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

3 ビデオカメラで映像を再生する

ビデオカメラ

再生

4 録画機器側で録画を開始する

録画機器

録 画

ご注意

- ダビングするときは、録画機器の入力切換えスイッチなどを必ず外部入力モードにしてください。
- 録画するときは、録画用ビデオを「S入力」にしてください。

- 録画中はSOURCE SELECTを切換えないでください。

ご注意

- INHIBITは「ON」にしてお使いください(☞32ページ)。
- あなたがビデオテープなどに録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタルチューナーから留守録する

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

入力端子⑥に接続したデジタルチューナーから、JX-D800がAC連動している出力端子❶に接続した録画機器に留守録してみましょう。

- 接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタルチューナー

(白) (赤) 音声出力端子へ

S映像出力端子へ

(緑) (青) (赤) コンポーネント出力端子へ

(白) (赤)

(緑) (青) (赤)

:信号の流れ

背面

(白) (赤)

S映像出力端子へ

音声出力端子へ

D映像出力端子へ

(白) (赤)

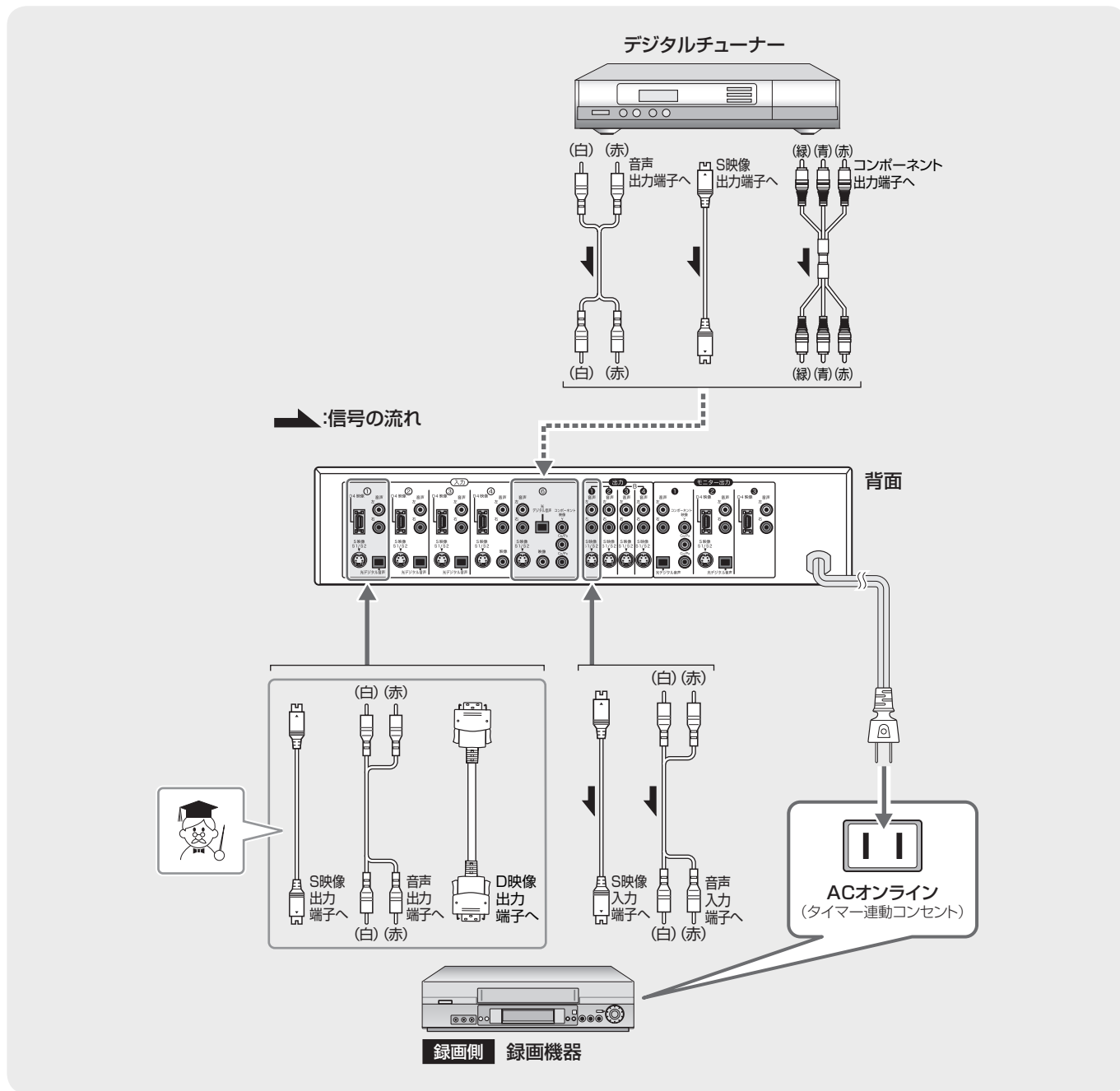
(白) (赤)

S映像入力端子へ

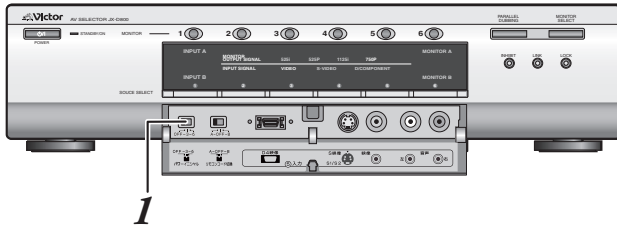
音声入力端子へ

(白) (赤)

ACオンライン
(タイマー連動コンセント)

録画側 録画機器

- デジタルチューナーにコンポーネント映像出力端子がなく、D映像出力端子がある場合は、入力端子③に接続し、パワーイニシャルスイッチを「3」に設定してお使いください。
- 録画機器やテレビにD映像(コンポーネント映像)出力または入力端子があるときは、D映像(コンポーネント映像)端子をつないでください。モニター出力よりきれいな映像が出力されます。

- S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなどを再生にも使用できるように、JX-D800の入力端子①と接続してお使いください。
- 録画機器にACオンライン機能が無い場合は、JX-D800のLINK機能を利用すると便利です。(☞34ページ)

- JX-D800の電源を入れてください。
- デジタルチューナーと録画機器の電源を入れて、録画予約をする準備をしておきます。

1 パワーイニシャルスイッチを「6」に設定して、JX-D800をタイマー動作させる

2 デジタルチューナーで録画したい番組を視聴予約する

デジタルチューナー

- タイマー予約のできない機器は、電源をONのままにしておいてください。

3 録画機器で録画予約の設定をする

- 予約した時刻になると、録画機器とJX-D800の電源が連動してONになり、録画が始まります。
- 録画機器の電源がOFFになると、JX-D800の電源もOFFになります。

録画機器

録画予約

パワーイニシャルについて

- JX-D800の電源プラグをビデオデッキなどのAC連動コンセントと接続し、パワーイニシャルスイッチを使用することで、タイマー動作させることができます。
  また、集中管理システムなどで、システムの主電源のON/OFF、入力切換を連動させるときに使います。
  JX-D800は、パワーイニシャルを使用して動作させた場合、次のような状態で電源が入ります。

スイッチの設定	電源が供給されたときの動作状態
OFF	スタンバイ状態(出荷時の設定)
3	• MONITOR : 3 • SOURCE SELECT : 3 • LOCK : ON • INHIBIT : ON
6	• MONITOR : 6 • SOURCE SELECT : 6 • LOCK : ON • INHIBIT : ON

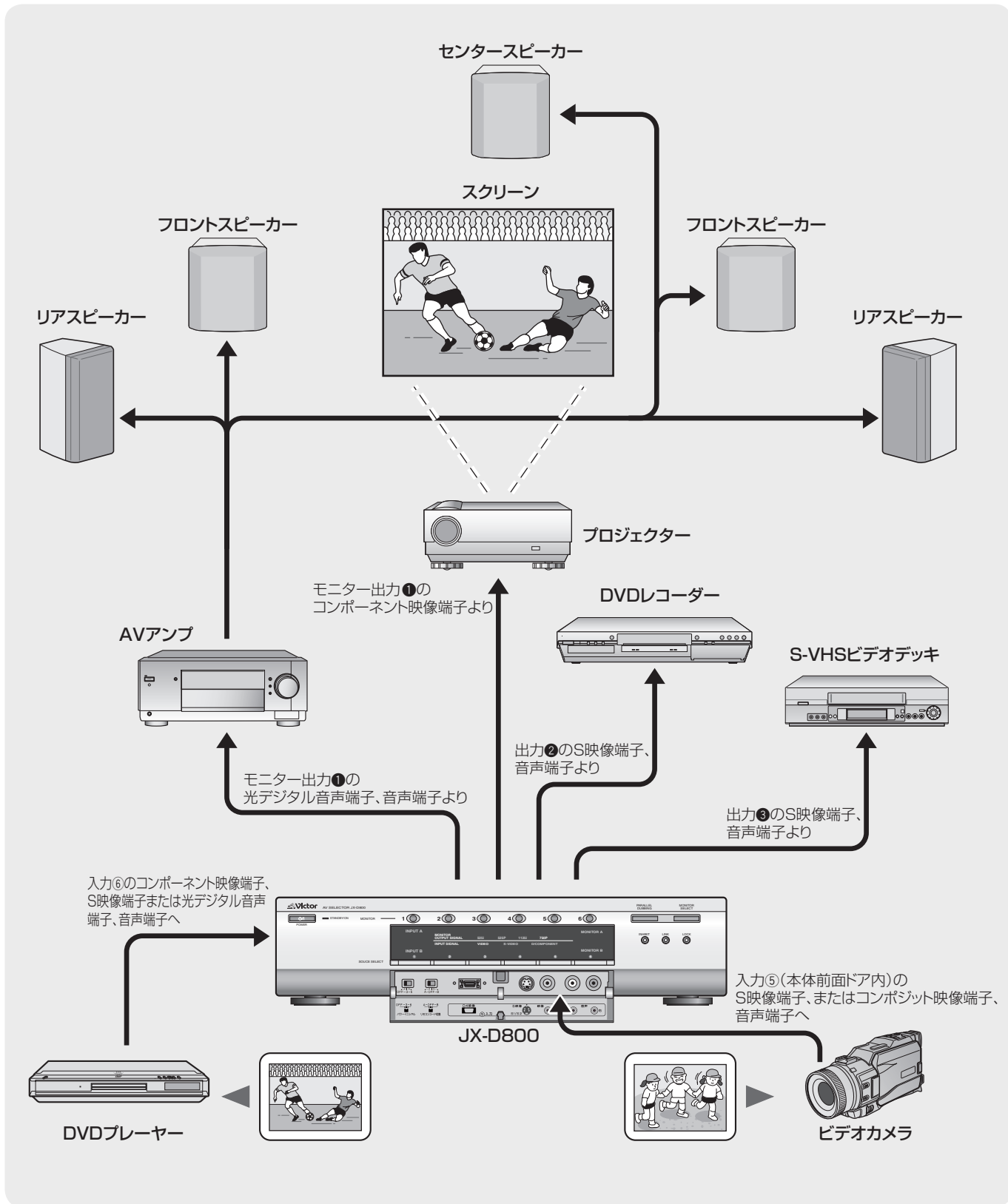
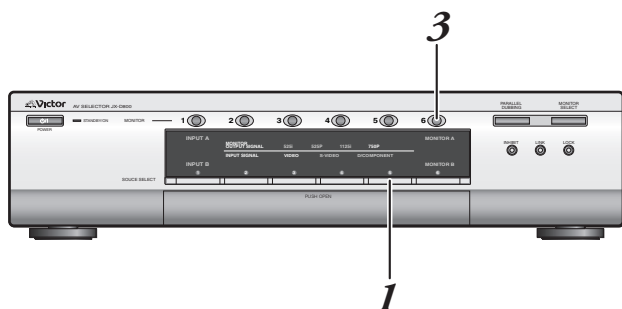
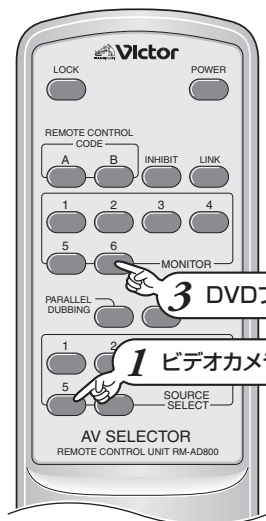
ご注意

- **パワーイニシャルは、AC連動でOFFになったときのように、完全に電源が切れている状態から再度電源が入ったときに働きます。電源ボタンで電源を「ON」にしたときは働きません。**

ホームシアター

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

シアターシステムでDVDソフトを楽しみながら、ビデオカメラの映像/音声を複数の録画機器にダビングしてみましょう。

• 接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

- JX-D800の電源を入れてください。
- 使用する機器の電源を入れて、入力を切換えるなどの準備をしておきます。

- ダビング中であっても、ビデオカメラを接続している入力のMONITORボタンを押すことにより、ビデオカメラの映像をプロジェクターで見ることができます。
- LOCKボタンを押すと、誤った操作を防止することができます(☞34ページ)。

1 SOURCE SELECTの「5」を押し、ビデオカメラを選ぶ

- 本体のSOURCE SELECT 5のランプが橙色に点灯します。

- すでにJX-D800のSOURCE SELECT 5のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 ビデオカメラで映像を再生し、録画機器側で録画を開始する

3 MONITORの「6」を押し、DVDプレーヤーを選ぶ

- 本体のMONITOR 6のランプが橙色に点灯します。

- すでにJX-D800のMONITOR 6のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

4 DVDプレーヤーで映像を再生する

DVDプレーヤー

PLAY

応用操作

知っていると便利

D映像入出力端子とコンポーネント映像入出力端子について

- D映像入出力端子とコンポーネント映像入出力端子は、映像信号のY/Cb(Pb)/Cr(Pr)(輝度信号／青色差信号／赤色差信号)をそれぞれ独立して受け渡す信号の端子です。
- JX-D800のD4映像端子およびコンポーネント映像端子では、D1（525i）、D2（525p）、D3（1125i）、D4（750p）が扱えます。
- D映像端子またはコンポーネント映像端子付きのテレビや映像再生機器に接続し、色のキレがよく、ちらつきのない画質で再生できます。
- コンポーネント映像端子は、アスペクト比などの識別信号を伝送することはできません。必要な場合は、D映像端子で接続してください。

S映像入出力端子について

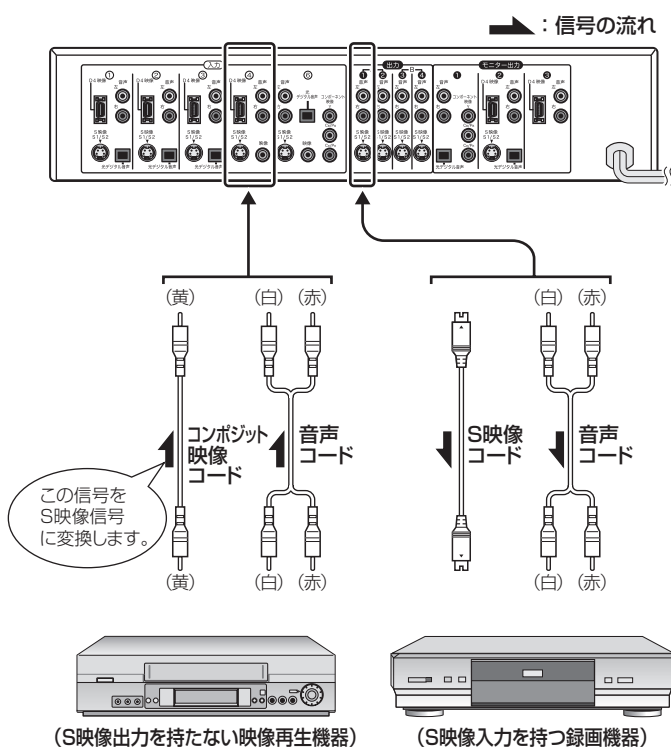
- S映像入出力端子は、映像信号のY/C(輝度信号／色信号)をそれぞれ独立して伝送するS映像信号の端子です。
- S映像端子付き録画／再生機器の録画／再生時に接続することで、通常のコンポジット映像端子よりもきれいな録画／再生ができます。
- S映像端子のない再生機器やテレビはコンポジット映像端子に接続します。コンポジット映像端子は、Y/C(輝度信号／色信号)の合成(コンポジット)信号の端子です。

光デジタル音声入出力端子について

- 光デジタル音声入出力端子は、DVDやデジタル放送のデジタル音声を光信号で入出力する端子です。
- 光デジタル音声端子付き機器の録音／再生時に接続し、通常の音声端子より高音質で、DVDやデジタル放送の音声を録音／再生できます。
- 光デジタル音声端子のない再生機器やテレビは音声端子に接続します。

コンポジット映像信号→S映像信号変換について

- JX-D800は、コンポジット映像入力端子に入力したコンポジット映像信号を、Y/C(輝度信号／色信号)に分離して、S映像出力端子へS映像信号として出力する変換回路(3次元Y/C分離回路)を内蔵しています。この回路は、コンポジット映像信号をS映像信号に変換します。

  S映像端子のない映像再生機器から、S映像端子付きの録画機器にダビングをする場合や、S映像端子付きのテレビへ映像を出力するときに便利です。

コンポジット映像信号→S映像信号変換の例

コンポジット映像信号→S映像信号→D1映像信号変換について

- JX-D800は、S映像入力端子に入力したS映像信号を、モニター出力のD4映像出力端子やコンポーネント映像出力端子へD1（525i）映像信号として出力する変換回路を内蔵しています。

  D映像出力端子のない映像再生機器からD映像入力端子やコンポーネント映像出力端子付きのテレビへ映像を出力するときに便利です。

- コンポジット信号→S映像信号変換によって変換されたS映像信号も、S映像入力端子から入力された信号と同様に、D1（525i）映像信号に変換されます。

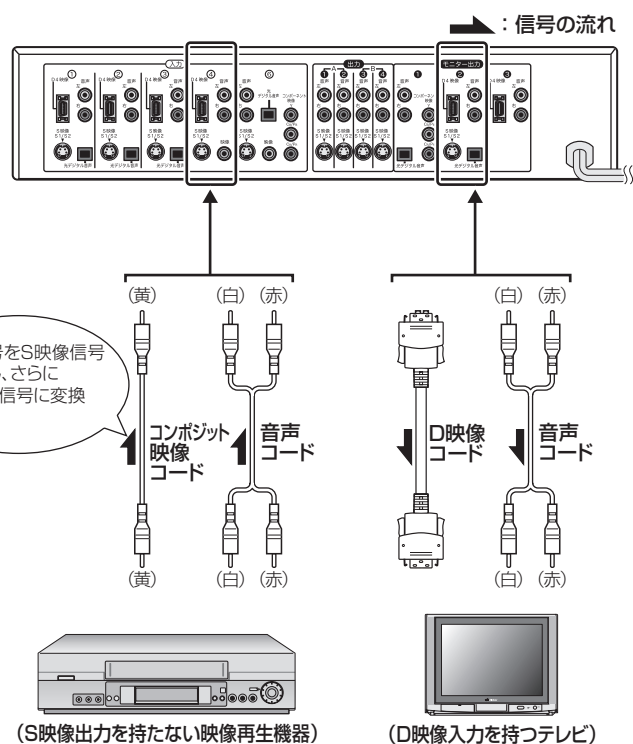
  コンポジット映像出力端子しか搭載されていない映像再生機器から、D映像入力端子やコンポーネント映像出力端子付きのテレビへ映像を出力するときに便利です。

S映像信号→D1映像信号変換の例

ご注意

- S映像入力端子とD4映像入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD4映像端子から出力されます（☞11ページ「出力(出力、モニター出力)端子を使用するときは」）。
- D1映像信号に変換された映像の画質は、元のS映像信号のものと同等です。
  信号変換によって画質向上するものではありません。

D端子、コンポーネント端子使用時のご注意

ビデオデッキやビデオカメラによるビデオテープの映像をコンポジット映像信号またはS映像信号としてJX-D800に入力し、D映像出力端子またはコンポーネント映像出力端子を用いてテレビに接続した場合、テレビによっては「画面が歪む」「画面が乱れる」などの症状が発生することがあります。これはテレビの仕様であり、改善することはできません。JX-D800は信号フォーマットの変換を行いますが、画質を安定および向上させる機能はありませんので、あらかじめご了承ください。このような場合は、JX-D800とテレビ間はD映像コードではなく、S映像コードでの接続をお奨めします。

コンポジット映像信号→S映像信号→D1映像信号変換の例

INHIBIT機能について

INHIBIT機能は、SOURCE SELECTで選んだ入力端子と同じ番号の出力端子に出力信号(映像/音声)を出力するか、しないかを設定する機能です。INHIBITボタンを押すたびに「ON」と「OFF」が切換わります(「ON」のときはINHIBITランプが緑色に点灯します)。通常は「ON」状態でご使用ください。

INHIBIT ON(出力しない)のとき

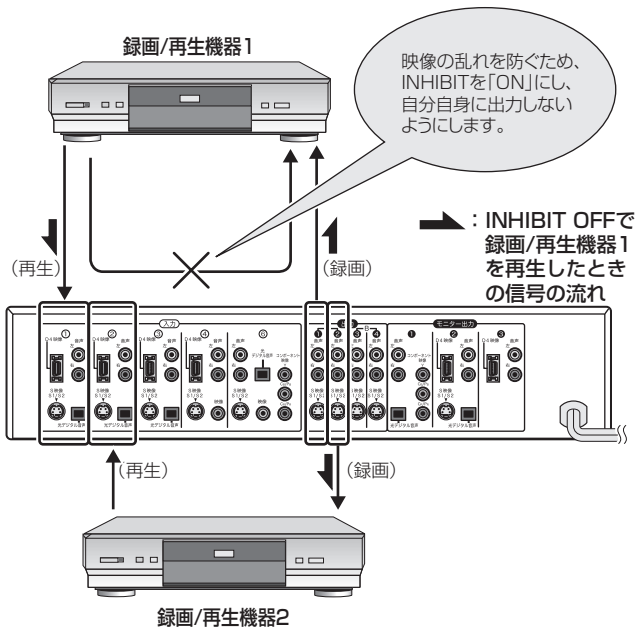
INHIBITランプ:点灯(緑色)

録画/再生機器1

映像の乱れを防ぐため、INHIBITを「ON」にし、自分自身に出力しないようにします。

(再生) (録画)

: INHIBIT OFFで録画/再生機器1を再生したときの信号の流れ

(再生) (録画)

録画/再生機器2

マルチダビングなど、上図の録画/再生機器のどちらも録画/再生用として使用する場合、JX-D800の入出力端子1を録画/再生機器1に、入出力端子2を録画/再生機器2に接続します。

INHIBITが「OFF」の状態で録画/再生機器1を再生すると、録画/再生機器2に録画/再生機器1の映像/音声信号が出力されると同時に、録画/再生機器1にも出力されます(JX-D800の出力端子1と録画/再生機器1の入力端子が接続されているため)。

この場合、録画/再生機器1の映像が乱れ、正常にダビングできなくなります。映像の乱れを防止するため、INHIBITを「ON」にし、出力端子1に信号を出力しないようにします。

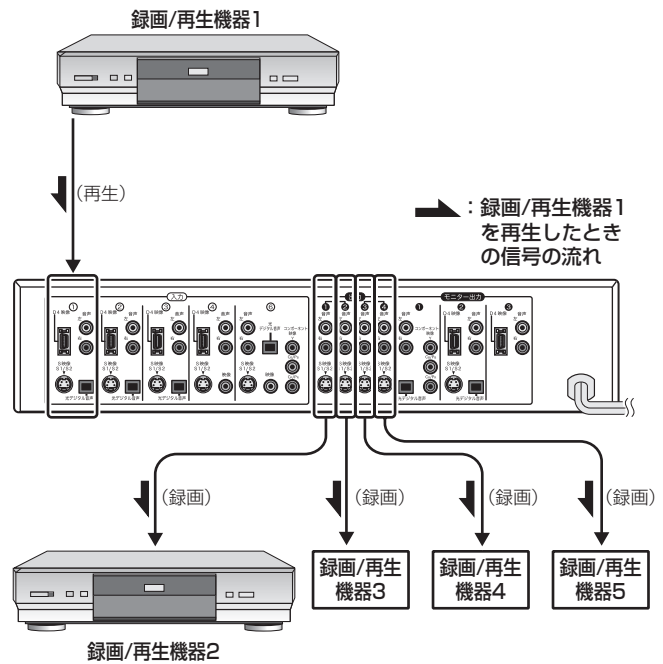
INHIBIT ON時の出力状態

SOURCE SELECT で選択した入力	出力1	出力2	出力3	出力4
1	×	○	○	○
2	○	×	○	○
3	○	○	×	○
4	○	○	○	×
5	○	○	○	○
6	○	○	○	○

○:出力する、×:出力しない

入力端子⑤、⑥には対応する出力端子が無いため、INHIBIT機能は働きません。

INHIBIT OFF(出力する)のとき

INHIBITランプ:消灯

録画/再生機器1から4台のビデオデッキにダビングする場合、JX-D800の入出力端子1と録画/再生機器1の入出力端子が接続されていると、出力端子が1つ足りなくなります。

出力端子を1つ拡張したいときは、INHIBITをOFFにし、JX-D800の出力端子1に録画/再生機器を接続します。

INHIBITを「OFF」にすると、全出力端子に同じ信号を出力します。

INHIBIT OFF時の出力状態

SOURCE SELECT で選択した入力	出力1	出力2	出力3	出力4
1	○	○	○	○
2	○	○	○	○
3	○	○	○	○
4	○	○	○	○
5	○	○	○	○
6	○	○	○	○

○:出力する、×:出力しない

PARALLEL DUBBING機能について

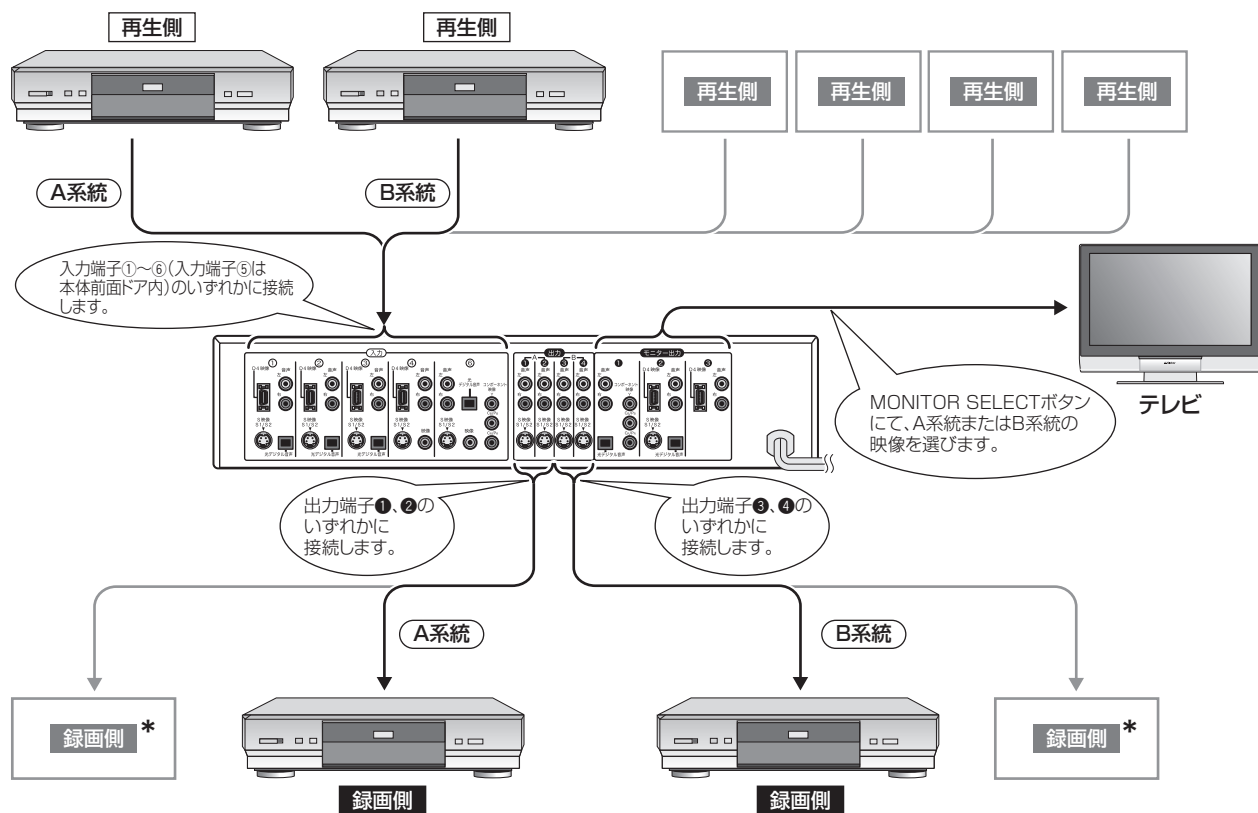
PARALLEL DUBBING機能は、「2種類のソフトを同時にダビングする」場合などに使います。

PARALLEL DUBBINGを「ON」にした場合、それぞれ独立した2つの信号系統ができます。JX-D800ではこの2つの系統を、「A系統」と「B系統」と呼んでいます。本体表示窓にも「INPUT A」、「INPUT B」が表示されます。

PARALLEL DUBBINGを「ON」にすると、A系統、B系統として使える端子が次のような組み合わせとなります。

	A系統	B系統
入力	入力端子①～⑥ MONITOR (INPUT A) 1～6ボタンで選びます	入力端子①～⑥ SOURCE SELECT(INPUT B) 1～6ボタンで選びます
出力	出力端子❶、❷	出力端子❸、❹

また、PARALLEL DUBBINGを「ON」にした場合、MONITOR SELECTボタンでA系統、B系統の映像を切換えて、テレビで確認することができます。

A系統を選んだ場合には、JX-D800の本体表示窓の、MONITOR Aランプが緑色に点灯します。
B系統を選んだ場合には、MONITOR Bランプが赤色に点灯します。

* 入力端子①～④に接続した機器とは異なる録画機器を出力端子❶～❹に接続して、同時に2台ずつダビングするときはINHIBITを「OFF」にします。

INHIBITが「ON」のときは：
- MONITORで①入力を選んだ場合、A系統の出力端子❶から出力されません。（出力端子❷から出力されます。）
- MONITORで②入力を選んだ場合、A系統の出力端子❷から出力されません。（出力端子❶から出力されます。）
- SOURCE SELECTで③入力を選んだ場合、B系統の出力端子❸から出力されません。（出力端子❹から出力されます。）
- SOURCE SELECTで④入力を選んだ場合、B系統の出力端子❹から出力されません。（出力端子❸から出力されます。）

LINK機能について

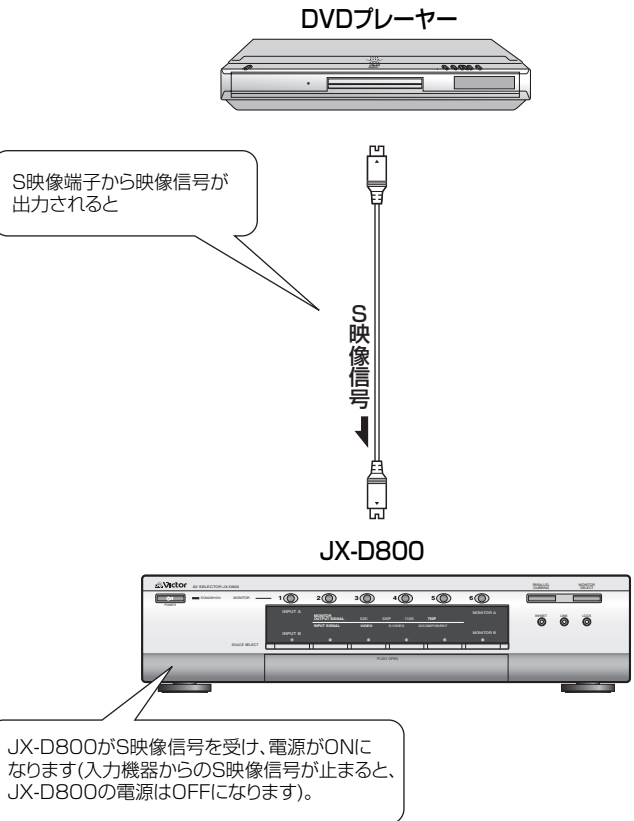
- **LINK機能を使うと、入力機器から出力されるS映像信号の有/無に対して、JX-D800の電源ON/OFFを連動(リンク)させることができます。**
  よくお使いになる機器にこの機能を設定しておくと、JX-D800の電源をON/OFFする手間が省けます。

ー 設定のしかた ー

JX-D800の電源のON/OFFを連動させたい機器の接続をSOURCE SELECTで選び、LINKボタンを押します(LINKランプが赤色に点灯します)。
設定後にSOURCE SELECTで異なる機器を選択した場合は、その機器と連動します。

ー LINK機能を使うと ー

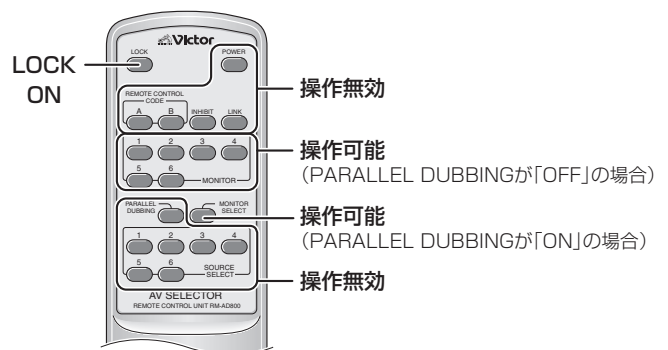
LINK機能を設定した機器からS映像信号が出力されているときは、JX-D800の電源も自動的にONになります。
また、その機器がS映像信号の出力を停止すると、JX-D800の電源も自動的にOFFになります。

- LINK機能を切りたいときは、もう一度LINKボタンを押します(LINKランプが消灯します)。

ご注意

- **LINK機能を使用したい機器は、必ずS映像端子も使ってJX-D800と接続してください。他の端子のみで接続している場合は、LINK機能は使用できません。**
- **LINK機能を設定していない機器を使用したいときは、あらかじめLINKボタンを押して、LINK機能を切ってからJX-D800の電源を入れてください。**
  もう一度LINK機能を使用するには、再設定を行なってください。
- **LINK機能が「ON」の状態でPARALLEL DUBBINGを「ON」にすると、LINK機能は一時的に「OFF」になります。PARALLEL DUBBINGを「OFF」にすると、LINK機能は元の状態で再び「ON」になります。**
- **LOCK機能とLINK機能の両方がONのときにLINK機能を切りたい場合は、以下の手順で行なってください。**
  1. **LOCKボタンを押してLOCK機能を切る**
     LOCKランプが消灯します。
  2. **LINKボタンを押してLINK機能を切る**
     LINKランプが消灯します。
- **S映像端子に接続されていない、または接続されていてもS映像信号が入力されていない入力端子を選んでLINK機能を設定すると、LINK機能が働いてJX-D800の電源が「OFF」になります。**

LOCK機能について

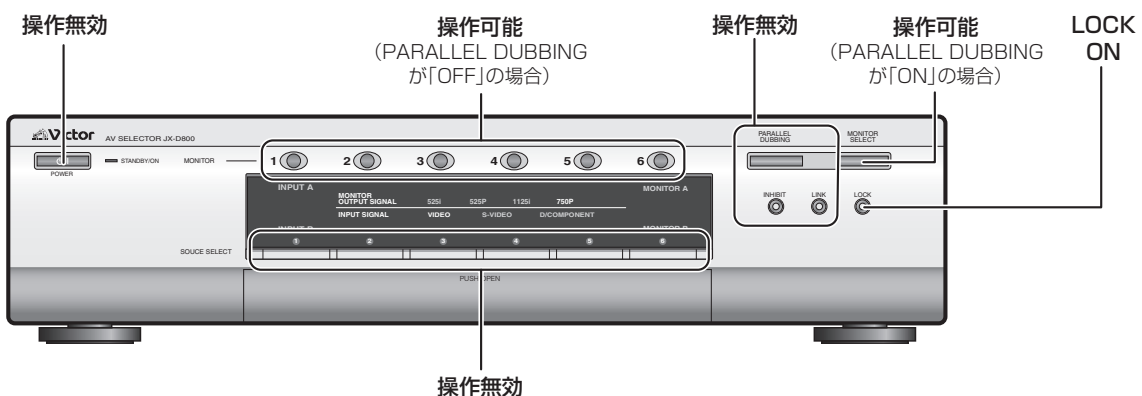
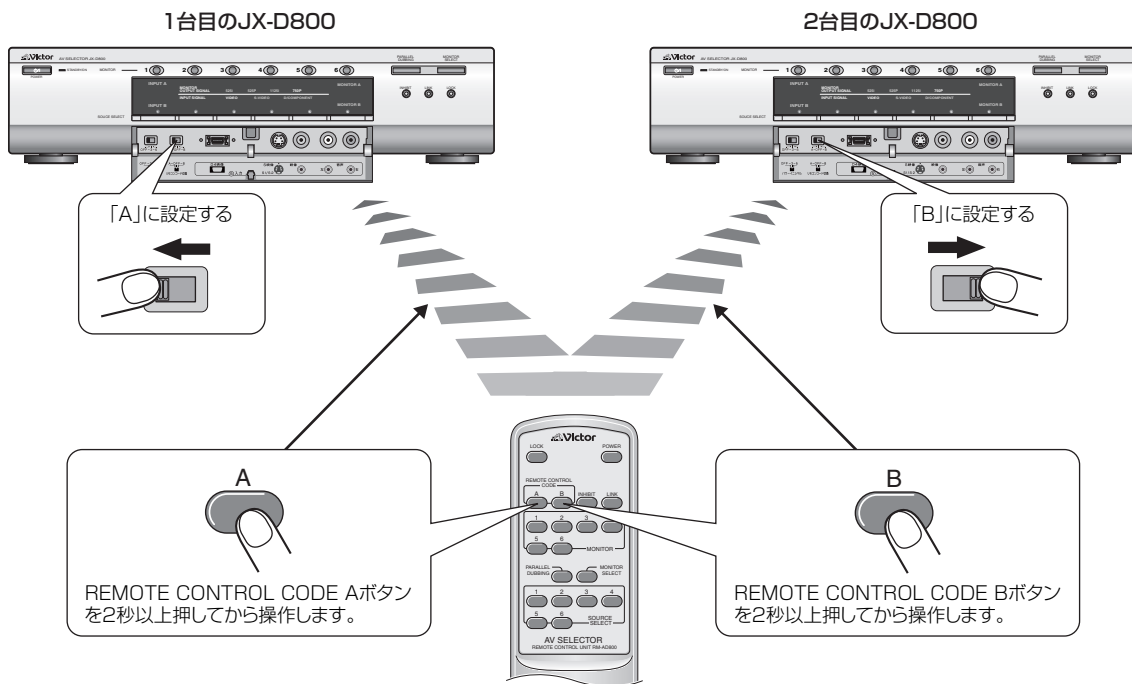
録画用ビデオデッキなどが動作中のとき、LOCKボタンを押すと、LOCKランプが赤色に点灯し、MONITOR1〜6ボタンとLOCKボタン以外のボタン操作を無効にします。
また、PARALLEL DUBBINGが「ON」のときは、MONITOR SELECTボタンとLOCKボタン以外のボタン操作を無効にします。
このため、誤って他のボタンを押しても、出力端子から出力される信号は変わらず、そのまま録画が行われます。

LOCKボタンを押すたびに、LOCK機能のON/OFFが切換わります。

リモコンコード切換について

• JX-D800を2台同時にご使用の場合、出荷時の設定のままでリモコン操作をすると、2台JX-D800が同時に同じ動作をしてしまいます。
リモコンコード切換を設定すると、リモコンから発信するリモコンコードを切換えることで、2台のJX-D800を1つのリモコンで別々に操作できます。

• リモコンコード切換をご使用になるときは、1台目のJX-D800のリモコンコード切換スイッチを「A」に、2台目のJX-D800のリモコンコード切換スイッチを「B」に設定してお使いください。
  - リモコンのREMOTE CONTROL CODE Aボタンを2秒以上押すと、リモコンで1台目のJX-D800を操作できます。
  - リモコンのREMOTE CONTROL CODE Bボタンを2秒以上押すと、リモコンで2台目のJX-D800を操作できます。

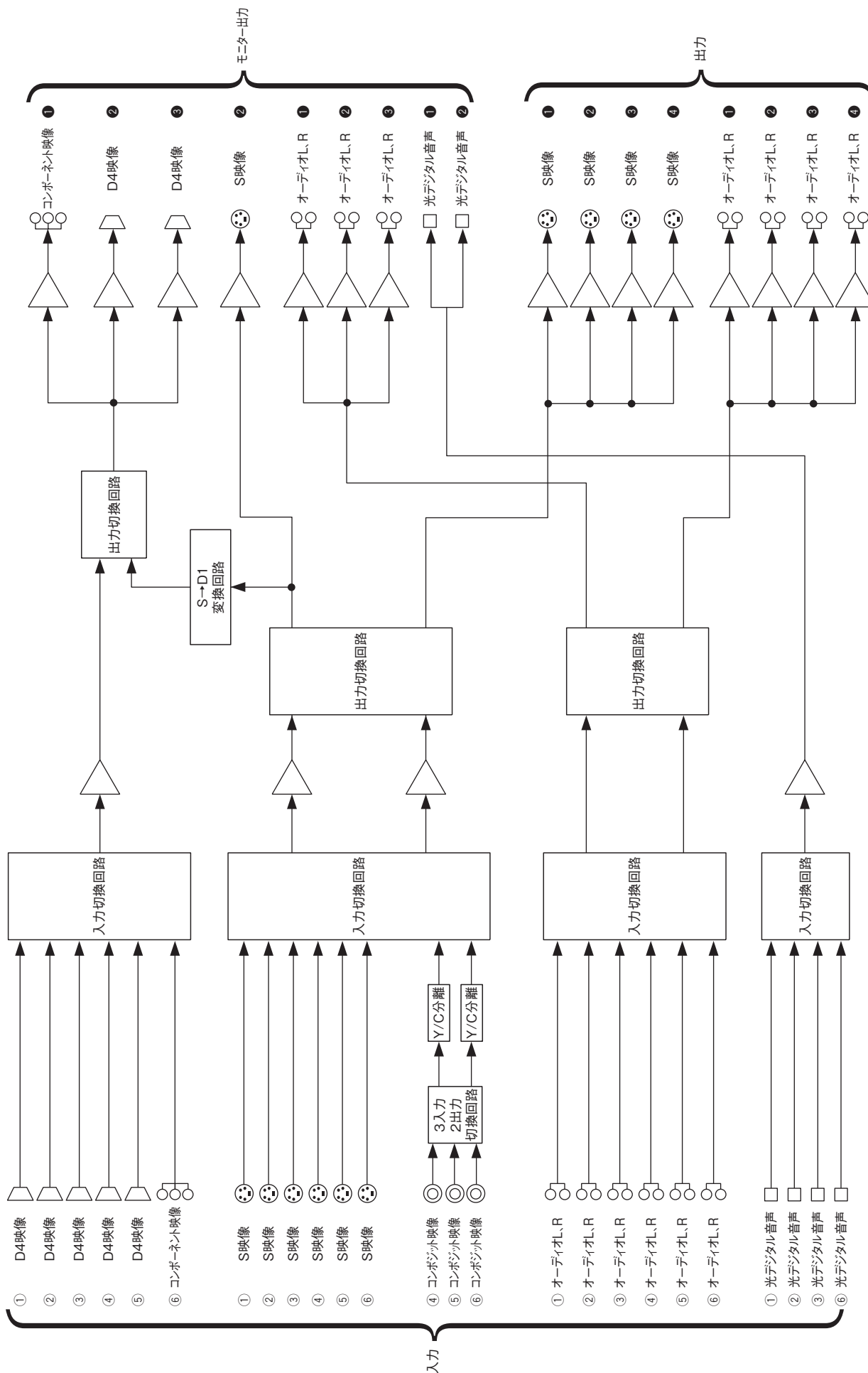
• お使いの他の機器のリモコンコードがJX-D800に干渉する場合など、JX-D800をリモコンで操作したくないときは、リモコンコード切換スイッチを「OFF」に設定してください。JX-D800はリモコンでの操作を受け付けなくなります。
• 出荷時はAコードに設定しています。

（参考）
当社従来機のリモコンコード
JX-S777：Aコード
JX-S555：Bコード
JX-D300：Bコード

故障かな？と思ったら

• JX-D800は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても正しく動作しないときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み動作を確認してください。

<table>
<tr><th colspan="2">症　状</th><th>原　因</th><th>処　置</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">電源</td><td>電源が入らない</td><td>• 電源コードがコンセントから抜けていませんか？</td><td>• 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>電源がOFFにできない</td><td>• LOCK機能がONになっていませんか?</td><td>• LOCK機能をOFFにしてから、電源ボタンを押してOFFにしてください。</td><td>34</td></tr>
<tr><td rowspan="5">再生</td><td rowspan="3">見たい映像が見られない</td><td>• 入力端子に機器が正しく接続されていますか？</td><td>• もう一度確かめて、正しく接続してください。</td><td>14、15、16、17</td></tr>
<tr><td>• モニター出力する機器を正しく選択していますか？</td><td>• もう一度確かめて、正しいMONITORボタンを押してください。</td><td>14、15、16、17</td></tr>
<tr><td>• モニター出力端子にテレビが正しく接続されていますか？</td><td>• もう一度確かめて、正しく接続してください。</td><td>14、15、16、17</td></tr>
<tr><td rowspan="2">再生機器で再生した映像が乱れる</td><td>• INHIBIT機能がOFFになっていませんか?</td><td>• INHIBITをONにしてください。</td><td>32</td></tr>
<tr><td>• ビデオテープの映像をコンポジット映像信号またはS映像信号としてJX-D800に入力し、D映像出力端子、またはコンポーネント映像出力端子を用いてテレビに接続していませんか?</td><td>• テレビによっては「画面が歪む」「画面が乱れる」などの症状が発生することがあります。これはテレビの仕様であり、改善することはできません。JX-D800は信号フォーマットの変換を行いますが、画質を安定および向上させる機能はありませんので、あらかじめご了承ください。このような場合は、JX-D800とテレビ間はD映像コードではなく、S映像コードでの接続をお奨めします。</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="4">録画</td><td rowspan="4">ダビングしたはずのテープに映像が録画されていない</td><td>• 再生用または録画用機器が入/出力端子に正しく接続されていますか？また、SOURCE SELECTボタンが正しく選ばれていますか?</td><td>• もう一度確かめて正しく接続し、SOURCE SELECTボタンを選んでください。</td><td>18、19、20、21、22、23、24、25</td></tr>
<tr><td>• 録画用機器の入力切換スイッチが「外部入力」になっていますか?</td><td>• 録画機器の入力切換スイッチを「外部入力」にしてください。</td><td>19</td></tr>
<tr><td>• 録画用機器側で、映像切換スイッチの「入力信号」が正しく設定されていますか？</td><td>• 録画機器の映像切換スイッチを正しく合わせてください。</td><td>19</td></tr>
<tr><td>• コピー禁止のソフトではありませんか?</td><td>• ビデオやDVDのソフトによっては、コピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。</td><td>19</td></tr>
</table>

症　状		原　因	処　置	ページ
録画	**パラレルダビングができない**	• 録画/再生機器が入出力端子に正しく接続されていますか?	• もう一度確かめて正しく接続してください。	**22、23、33**
		• 系統ごとの出力に合わせて入力機器を選択していますか?	• A系統、B系統の入出力をもう一度確かめて、MONITORボタンとSOURCE SELECTボタンを押してください。	**22、23、33**
	D端子またはコンポーネント映像端子で接続した機器からダビングができない	• S端子も同時に接続していますか?	• D映像およびコンポーネント映像入力端子からの映像信号は、S映像信号には変換されません。入力端子のD4映像またはコンポーネント映像端子とS映像端子を同時に接続してください。	**16、17**
	ダビングしたテープに音声が録音されていない	• 音声入力端子は正しく接続されていますか?	• もう一度確かめて、正しく接続してください。	**18、19、20、21、22、23**
見る	**テレビに映像が映らない**	• 見たい機器のMONITORボタンが正しく選ばれていますか?	• もう一度確かめて、MONITORボタンを選んでください。	**14、15**
		• モニター出力端子にテレビが正しく接続されていますか?	• もう一度確かめて、正しく接続してください。	**14、15**
		• テレビの入力切換は正しいですか?	• テレビの入力切換を確認してください。	**14、15**
	D映像端子付きテレビに映像が映らない	• テレビの接続や設定を間違えていませんか?	• もう一度、テレビの取扱説明書を見ながら設定し、D映像端子の接続を確かめてください。	**14**
その他	**LINK機能が使えない**	• S映像端子も同時に接続していますか?	• LINK機能を使うにはS映像端子の接続が必要です。 LINK機能を使いたい機器を接続するときは、必ずS映像端子も接続してください。	**34**
	リモコンで操作できない	• リモコンの乾電池が消耗していませんか?	• リモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に交換してください。	**13**
		• 乾電池の極性(⊕と⊖)を間違えて入れていませんか?	• 正しく入れ直してください。	**13**
		• リモコンコードを切換えていませんか?	• リモコンコード切換スイッチの設定を確認し、その設定に合ったREMORT CONTROL CODEボタンを押してから操作してください。 リモコンコード切換スイッチが「OFF」になっている場合は、「A」または「B」に切換えてご使用ください。	**35**

モニター出力
出力
コンポーネント映像
D4映像
S映像
オーディオL, R
光デジタル音声
出力切換回路
S→D1 変換回路
入力切換回路
Y/C分離
3入力 2出力 切換回路
コンポジット映像
入力

用語解説

マルチダビング
複数の機器を再生用または録画用として、どちらの用途でも自由に選べてダビングできること。

パラレルダビング
複数の機器を再生用または録画用として2系統に分け、同時に2種類のソフトをダビングできること。

S映像信号
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

S1映像信号
S映像信号にフルモード（横長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。
16:9のワイド画面でお楽しみいただけます。

S2映像信号
S1映像信号に加え、ワイドクリアビジョン放送であるかを自動識別するための識別信号を重畳させた信号です。

コンポジット映像信号
S映像信号の輝度信号（Y）と色信号（C）を合成した信号です。

光デジタル音声端子
DVDやデジタル放送のデジタル音声を光信号で受け渡す端子です。通常のアナログ音声端子より劣化の少ない音質で音声信号を送ることができます。

コンポーネント映像端子
DVDなどの高画質な映像信号（Y/PB/PR、Y/CB/CR）を信号間の干渉なく高性能モニターに送ります。

D映像端子
コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。
数字は扱える信号を意味しています。

• JX-D800のD端子は「D4」まで対応しています。

D1	525i
D2	525p(525i)
D3	1125i (525p、525i)
D4	750p(1125i、525p、525i)

1125i、750p、525p、525i
各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称。
JX-D800は1125i、750p、525p、525iの4方式に対応しています。(数字は走査線数、「i」は「インターレース」、「p」は「プログレッシブ」を表します)

インターレース(1125i、525i)
従来の映像方式。半分の走査線を交互に表示することによって映像を再現します。

プログレッシブ(750p、525p)
一度にすべての走査線で表示（従来のインターレース方式ではその半分）しているため、従来より高精細な映像を再現します。

ハイビジョン放送
750p、1125iの高画質放送をハイビジョン放送と呼びます。従来の地上波アナログ放送にくらべ走査線数が2倍以上に増えた放送では、より高精細な映像が楽しめます。

デジタル放送
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の3種類があり、受信には各放送に対応したデジタルチューナーを必要とします。
従来のアナログ放送と比べて、高精細な映像、高音質な音声をデジタルで配信します。また、映像/音声以外にも、文字情報その他の情報を配信するデータ放送も行なわれています。

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045)651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042)776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055)922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	津市大字藤方485-18
北陸			
富山	富山 S.S.	(076)425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739)22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078)252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852)31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088)622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092)431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0106

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

保証期間
お買い上げから1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

このAVセレクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口（☞**40**ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

36、**37**ページの「故障かな？と思ったら」にしたがってお調べいただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

項目	内容
品　名	AVセレクター
型　名	**JX-D800**
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	（　　）　－
訪問希望日	

修理料金のしくみ

項目	内容
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。

＋

項目	内容
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

項目	内容
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただくこともあります。

便利メモ

お買い上げの販売店	お近くのビクターサービス窓口
電話（　　）　－	電話（　　）　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

●お客様の個人情報は、お問合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
●お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
●次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
　①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
　②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
●お客様の個人情報に関するお問合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

仕様および外観は、改善のため予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください。

商品名	AVセレクター
入出力端子	入力　6系統(D4映像×5、コンポーネント映像×1、S映像×6、コンポジット映像×3、光デジタル音声×4、音声L/R×6) 出力　4系統(S映像×4、音声L/R×4) モニター出力　3系統(D4映像×2、コンポーネント映像×1、S映像×1、光デジタル音声×2、音声L/R×3)
映像入力	**基準入力** • コンポジット映像信号 VBS　: Vp-p = 1.0V (75Ω) • S映像信号 Y　: Vp-p = 1.0V (75Ω) C　: Vp-p = バースト 0.286V、シアン 0.642V (75Ω) • コンポーネント映像信号 Y　: Vp-p = 1.0V (75Ω) P_B　: Vp-p = 0.7V (75Ω) P_R　: Vp-p = 0.7V (75Ω)
	最大入力 • コンポジット映像信号 VBS　: Vp-p = 1.2V (75Ω) • S映像信号 Y　: Vp-p = 1.5V (75Ω) C　: Vp-p = バースト 0.429V、シアン 0.963V (75Ω) • コンポーネント映像信号 Y　: Vp-p = 1.5V (75Ω) P_B　: Vp-p = 1.05V (75Ω) P_R　: Vp-p = 1.05V (75Ω)
映像出力 (基準入力時)	**S映像信号** Y　: Vp-p = 1.0V (75Ω) C　: Vp-p = バースト 0.286V、シアン 0.642V (75Ω) **コンポーネント映像信号** Y　: Vp-p = 1.0V (75Ω) P_B　: Vp-p = 0.7V (75Ω) P_R　: Vp-p = 0.7V (75Ω)
映像クロストーク	50dB以上 (同CH Y/C間および同CH Y/P_B/P_R間 45dB以上)
映像S／N比	50dB以上
映像周波数帯域	コンポジット → S映像信号:4.3 MHz　S映像信号 → S映像信号:12 MHz コンポーネント映像信号 → コンポーネント映像信号:30 MHz
音声入力	基準入力　−10dBV 最大入力　+6dBV
音声出力	−10dBV(基準入力時)
音声クロストーク	80dB以上(1kHz)
音声S／N比	80dB以上
音声周波数特性	5Hz〜50kHz
歪率	0.01%以下
光デジタル信号	ピーク発光波長 660nm±30nm　ピーク光出力 −15dBm〜−21dBm(基準光ファイバ出力端)
電源	AC100V　50Hz/60Hz
消費電力	12W　(スタンバイ時 2W未満)
外形寸法	幅 43.5 cm × 高さ 10.4 cm × 奥行き 26.7 cm　(突起部、脚部を含む)
本体質量	3.5 kg
付属品	リモコン 単3乾電池　2本(動作確認用)

索引

五十音順

アルファベット順

JX-D800　AVセレクター　取扱説明書

ご相談や修理は	
ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。 転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。	
修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
40ページをご覧ください。	フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話　(045) 450−8950** **FAX　(045) 450−2275** 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、41ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

LNT0058-001A